

(様式第 10)

信大病総第 5 2 1 1 号
平成 2 7 年 1 0 月 2 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人 信州大学長 濱田 州博 (印)

信州大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第の規定に基づき、平成 2 6 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒390-8621 長野県松本市旭 3 丁目 1 番 1 号
氏 名	国立大学法人 信州大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

信州大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒390-8621 長野県松本市旭 3 丁目 1 番 1 号	電話(0263) 35 - 4600
-----------------------------------	--------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="checkbox"/> ①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜 ② 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科	有
内科と組み合わせた診療科名等 1 呼吸器・感染症・アレルギー内科 2 循環器内科 3 消化器内科 4 血液内科 5 腎臓内科 6 糖尿病・内分泌内科 7 脳神経内科	
診療実績 (平成26年度の診療患者数) ・神経 (脳神経内科にて外来患者延10,422名・入院患者延8,546名)、 ・代謝 (糖尿病・内分泌内科にて外来患者延16,722名、入院患者延5,972名)、 ・リウマチ科 (内科にて外来患者延8,288名、入院患者延6467名)	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	無
外科と組み合わせた診療科名 1 消化器外科 2 移植外科 3 小児外科 4 乳腺・内分泌外科 5 心臓血管外科 6 呼吸器外科 7 形成外科	
診療実績	

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科 ②小児科 ③整形外科 ④脳神経外科 ⑤皮膚科 ⑥泌尿器科 ⑦産婦人科 8産科 9婦人科 ⑩眼科 ⑪耳鼻咽喉科 ⑫放射線科 13放射線診断科 14放射線治療科 ⑮麻酔科 ⑯救急科
--

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	無
歯科と組み合わせた診療科名 1 歯科口腔外科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 リハビリテーション科 2 病理診断科

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
40床	0床	0床	0床	667床	707床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成27年10月1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	304人	172.1人	476.1人	看 護 補 助 者	36人	診 療 エ ッ ク ス 線 技 師	0人
歯 科 医 師	8人	8.6人	16.6人	理 学 療 法 士	16人	臨 床 検 査 技 師	63人
薬 剤 師	45人	0人	45.0人	作 業 療 法 士	12人	衛 生 検 査 技 師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	7人	そ の 他	0人
助 産 師	55人	1.5人	56.5人	義 肢 装 具 士	0人	あ ん 摩 マ ッ サ ー ジ 指 圧 師	0人
看 護 師	645人	8.2人	653.2人	臨 床 工 学 士	11人	医 療 社 会 事 業 従 事 者	10人
准 看 護 師	2人	0人	2.0人	栄 養 士	0人	そ の 他 の 技 術 員	41人
歯 科 衛 生 士	4人	0人	4.0人	歯 科 技 工 士	2人	事 務 職 員	192人
管 理 栄 養 士	6人	0人	6.0人	診 療 放 射 線 技 師	37人	そ の 他 の 職 員	25人

(注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従業者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成27年 9月 1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	32人	眼科専門医	11人
外科専門医	34人	耳鼻咽喉科専門医	15人
精神科専門医	6人	放射線科専門医	19人
小児科専門医	26人	脳神経外科専門医	10人
皮膚科専門医	12人	整形外科専門医	26人
泌尿器科専門医	12人	麻酔科専門医	13人
産婦人科専門医	13人	救急科専門医	15人
		合 計	244人

(注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従業者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	572.9人	10.5人	583.4人
1日当たり平均外来患者数	1473.4人	69.3人	1542.6人
1日当たり平均調剤数		914.5 剤	
必要医師数			146人
必要歯科医師数			2人
必要薬剤師数			20人
必要(准)看護師数			344人

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除し

た数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備		概 要	
集中治療室	371 m ²	鉄筋コンクリート	病床数	10 床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 357m ² [移動式の場合] 台数 6台		病床数	28 床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 116m ² [共用室の場合] 共用する室名 服薬指導室					
化学検査室	508 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 全自動マイクロプレートEIA分析装置			
細菌検査室	128 m ²	〃	(主な設備) Anoxomat Mark II (細菌診断装置)			
病理検査室	232 m ²	〃	(主な設備) 凍結組織切片作製装置			
病理解剖室	145 m ²	〃	(主な設備) 写真撮影器具			
研究室	241 m ²	〃	(主な設備) なし			
講義室	949 m ²	〃	室数	10 室	収容定員	404 人
図書室	88 m ²	〃	室数	1 室	蔵書数	6,500 冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成26年4月1日～平成27年3月31日	
紹介率	66.0%	逆紹介率	50.7%
算出根拠	A: 紹介患者の数	10,820人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	9,333人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,347人	
	D: 初診の患者の数	18,423人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	CTガイド下気管支鏡検査	取扱患者数	47人
当該医療技術の概要 CTの普及により、胸部X線では発見不可能な淡くて小型の肺病変が増えてきている。X線透視下による気管支鏡検査は困難であり、CT撮影下に気管支鏡生検を行う検査である。			
医療技術名	超音波気管支鏡ガイド下針生検	取扱患者数	33人
当該医療技術の概要 気管支鏡と超音波が一体となった内視鏡で気管・気管支周辺の病変に対してリアルタイムに針生検を可能とした手技。			
医療技術名	エキシマレーザーを用いた心内リード抜去術	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要 ペースメーカーやICDを植え込んだ後、感染症の合併により植え込んだリードを抜去する必要がある場合がある。これまでリードの抜去に開心術が必要で患者の負担が大であったが、エキシマレーザーを用いることにより開心術を行うことなくリード抜去を実施している。			
医療技術名	膵石症に対するESWL(体外衝撃波結石破砕術)	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 膵石はその性状から内視鏡的な破砕が困難であり、除去に難渋する症例が多い。ESWLは比較的安全に砕石が可能であり、当科での主膵管内結石除去成功率は70%と有効な治療法の一つである。ESWLの有効性の評価とより有効な治療法(ESWLの使用法・他治療との組み合わせなど)の検討のため、対象症例の治療とデータの蓄積・検討を進めている。			
医療技術名	ITPAの遺伝子多型測定	取扱患者数	80人
当該医療技術の概要 C型慢性肝炎のインターフェロン治療副作用予測としてのリバビリン貧血規定遺伝子ITPAの遺伝子多型を測定し副作用発現を予測する。			
医療技術名	全身性ALアミロイドーシスに対する化学療法(自己末梢血幹細胞移植併用大量化学療法を含む)	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 全身性ALアミロイドーシスの原因である骨髄中の異常形質細胞を標的とした化学療法であり、2001年に本邦においては当科で先駆的に開始され、以後も継続的に行い、本邦をリードしている。			
医療技術名	免疫グロブリン不応重症川崎病に対するインフリキシマブ療法	取扱患者数	55人
当該医療技術の概要 標準的治療である免疫グロブリン療法に対する不応例について、まだ決まった追加治療はない。インフリキシマブの川崎病に対する有効性は確認されており、ガイドラインにも掲載されているが、保険適応外であり、通常使用できない。当科では、倫理委員会の承認のもと、2007年から使用しており、有効かつ安全であると考えている。			
医療技術名	血管奇形に対する画像誘導下経皮的硬化療法	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 皮膚や筋肉、軟部組織における血管奇形に対して、CT等下に病変を穿刺。硬化剤として無水エタノールを注入する治療である。			
医療技術名	肝臓に対するラジオ波焼灼システムを用いた腹腔鏡補助下肝切除術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 肝臓に対する手術において、腹腔鏡下に肝周囲を剥離授動したのち、小開腹下にてラジオ波を併用して肝離断前凝固による止血を行い、肝切除を施行する手法であり、同法における安全性ならびに治療効果を検討する。			
医療技術名	良性もしくは低悪性膵体尾部腫瘍に対する腹腔鏡下膵体尾部切除術	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 膵体尾部の良性もしくは低悪性腫瘍に対して、腹腔鏡下に膵脾の授動を行い膵を切離する手術法であり、同法における安全性ならびに治療効果を検討する。			

医療技術名	生体肝移植	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 肝臓は非常に複雑な機能を持っており、腎臓の悪い患者に対する透析のように機械での代替は難しく、肝臓本来の機能が低下していけば患者はいずれ死亡してしまう。肝移植は、患者の機能を失ったあるいは低下した肝臓を健康な肝臓と交換することにより、患者の命を救うことができる。生体肝移植は、生体ドナーから肝臓の一部を提供してもらい、患者に肝移			
医療技術名	脳死肝移植	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 肝臓は非常に複雑な機能を持っており、腎臓の悪い患者に対する透析のように機械での代替は難しく、肝臓本来の機能が低下していけば患者はいずれ死亡してしまう。肝移植は、患者の機能を失ったあるいは低下した肝臓を健康な肝臓と交換することにより、患者の命を救うことができる。脳死肝移植は、脳死者から提供された肝臓を移植する。			
医療技術名	心筋症に対する補助人工心臓	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 心筋症における末期心不全において補助人工心臓を用いて補助を行う。			
医療技術名	ロボット支援下肺葉切除術	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 ロボット支援(ダヴィンチ)を用いた肺癌に対する肺葉切除術			
医療技術名	ロボット支援下胸腺摘除術	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 ロボット支援(ダヴィンチ)を用いた前縦隔腫瘍(重症筋無力症を含む)に対する胸腺摘除術			
医療技術名	実物大臓器立体モデルによる手術支援	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患に対して、患部のCT画像を撮影した後、CTデータを元にコンピュータを用いて三次元画像を作成する。次に、三次元積層法を用いた三次元プリンターに当該画像データを入力し、骨格の実物大立体モデルを作製する。このモデルを用いて、実際の手術器具(ボーンソー・ドリルなど)を使用した手術のシミュレーションを行い、複雑な手術イメージをスタッフ間で共有・補完した上で手術に臨む。			
医療技術名	脳幹部病変の外科治療	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 頭蓋底外科技術を用い、脳幹病変の摘出行う			
医療技術名	ロボット支援腹腔鏡下前立腺摘除術	取扱患者数	70人
当該医療技術の概要 daVinciシステムを使用した手術			
医療技術名	人工尿道括約筋埋込術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 前立腺癌術後の尿失禁に対する新しいdeviceを使用した手術			
医療技術名	Bone bridge	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 中耳手術後や中耳・外耳奇形による伝音難聴患者に対し、側頭骨に埋め込み型の骨伝導インプラントを入れ、補聴を行う			
医療技術名	一側性難聴に対する人工内耳埋め込み術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 従来、何の医療的介入を行うことのできなかつた一側性高度難聴の症例に対する人工内耳埋め込み術			
医療技術名	Electro Acoustic Stimulation	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 低音部の残存聴力を活用可能な新しいコンセプトの人工内耳(残存聴力活用型人工内耳)			

医療技術名	Baha	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 外耳道閉鎖症などの通常の補聴器が使用不可能な症例に対する、側頭骨にチタン製の接合部を埋め込み、骨導を使って補聴するシステム			
医療技術名	運動誘発電位測定	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 胸腹部大動脈瘤手術は、術中・術後に脊髄梗塞が生じ、下肢麻痺になることがある。術後の下肢麻痺を防止するために、術中に運動誘発電位を測定し、脊髄運動路の機能を持続的に評価する。			
医療技術名	反回神経機能測定	取扱患者数	25人
当該医療技術の概要 甲状腺手術時には、手術操作により反回神経が損傷し、声帯麻痺による嗄声や呼吸困難が生じることがある。術中の反回神経損傷の早期検出のために、大脳皮質運動野を刺激し、声帯の運動を評価する。			
医療技術名	脊髄刺激電極	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 通常の治療にて対応が難しい、難治性の腰下肢痛、上肢痛に対して施行する。脊髄硬膜外腔に入れた電極から、脊髄神経を電気刺激することで、除痛を図る方法である。			
医療技術名	Racz カテーテル硬膜外神経根形成術	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 通常の治療で対応困難な神経根症に対して施行する。透視下に、癒着した神経近傍にカテーテルを進め、薬液を集中投与することにより、化学・機械的に癒着剥離を行う方法である。			
医療技術名	重症呼吸不全に対する体外式肺補助(ECMO)法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 重症呼吸不全の中には人工呼吸で管理できない症例がある。人工肺を用い体外循環にて呼吸管理を行う。			
医療技術名	心停止に対する体外式心肺補助(ECPR)法	取扱患者数	19人
当該医療技術の概要 心停止患者で通常の心肺蘇生法にて蘇生不可能な症例に対して人工心肺装置を用い体外循環にて循環及び呼吸管理を行う。			
医療技術名	低酸素性重症呼吸不全に対する一酸化窒素吸入療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 低酸素性重症呼吸不全に微量の一酸化窒素(NO)吸入を行う方法である。NO濃度は1~20ppm程度である。			
医療技術名	マイクロアレイ染色体検査	取扱患者数	102人
当該医療技術の概要 マイクロアレイを用いて染色体微細構造の変化を解析し、患者DNAにおけるコピー数の変化を解析する			
医療技術名	結合織疾患の次世代シーケンズ解析	取扱患者数	50人
当該医療技術の概要 次世代シーケンサーを用い、結合織疾患(マルファン症候群、エーラーズ・ダンロス症候群等)患者を対象に、17種の遺伝子を解析している。			
医療技術名	知的障害の次世代シーケンズ解析	取扱患者数	32人
当該医療技術の概要 知的障害患者を対象に、次世代シーケンサーを用いて、知的障害関連の49種の遺伝子解析を行っている。			
医療技術名	デスマプレッシン点鼻療法	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 D4ST欠損を伴うエーラーズダンロス症候群患者の巨大皮下血腫に対して、デスマプレッシン点鼻療法を行い、良好な経過を導き出している。			

医療技術名	一酸化窒素吸入療法	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 低酸素血症に対し、人工呼吸吸気に少量の一酸化窒素を付加して酸素化を改善する			
医療技術名	体外式補助人工心臓(VAD)	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 心不全に対する心移植までのブリッジング治療			
医療技術名	樹状細胞ワクチン療法	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 先進医療Aの技術で「樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法」に準じた治療			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	74人	・膿疱性乾癬	10人
・多発性硬化症	59人	・広範脊柱管狭窄症	12人
・重症筋無力症	84人	・原発性胆汁性肝硬変	56人
・全身性エリテマトーデス	219人	・重症急性膵炎	6人
・スモン	5人	・特発性大腿骨頭壊死症	53人
・再生不良性貧血	47人	・混合性結合組織病	44人
・サルコイドーシス	94人	・原発性免疫不全症候群	18人
・筋萎縮性側索硬化症	34人	・特発性間質性肺炎	32人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	154人	・網膜色素変性症	13人
・特発性血小板減少性紫斑病	19人	・プリオン病	3人
・結節性動脈周囲炎	40人	・肺動脈性肺高血圧症	11人
・潰瘍性大腸炎	113人	・神経線維腫症	22人
・大動脈炎症候群	20人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	13人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	5人
・天疱瘡	17人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	8人
・脊髄小脳変性症	87人	・ライソゾーム病	7人
・クローン病	75人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	8人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	6人	・脊髄性筋萎縮症	3人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	121人	・球脊髄性筋萎縮症	4人
・アミロイドーシス	134人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	25人
・後縦靭帯骨化症	44人	・肥大型心筋症	14人
・ハンチントン病	1人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウリス動脈輪閉塞症)	19人	・ミトコンドリア病	4人
・ウェゲナー肉芽腫症	12人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	5人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	38人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	22人	・黄色靭帯骨化症	7人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	118人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・データ提出加算
・歯科外来診療環境体制加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・歯科診療特別対応連携加算	・救命救急入院料
・特定機能病院入院基本料	・特定集中治療室管理料
・臨床研修病院入院診療加算	・ハイケアユニット入院医療管理料
・救急医療管理加算	・新生児特定集中治療室管理料1
・超急性期脳卒中加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・妊産婦緊急搬送入院加算	・小児入院医療管理料4
・診療録管理体制加算	・
・急性期看護補助体制加算	・
・療養環境加算	・
・重症者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・がん診療連携拠点病院加算	・
・医療安全対策加算	・
・感染防止対策加算	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・退院調整加算	・
・救急搬送患者地域連携紹介加算	・
・呼吸ケアチーム加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・心臓ペースメーカー指導管理料(植込型除細動器移行加算)	・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)
・高度難聴指導管理料	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・糖尿病合併症管理料	・治療的角膜切除術(エキシマレーザーによるもの(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。))
・がん性疼痛緩和指導管理料	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・外来緩和ケア管理料	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・移植後患者指導管理料	・網膜再建術
・糖尿病透析予防指導管理料	・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・院内トリアージ実施料	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・外来放射線照射診療料	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)
・ニコチン依存症管理料	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
・地域連携診療計画管理料	・乳がんセンチネルリンパ節加算1、乳がんセンチネルリンパ節加算2
・ハイリスク妊産婦共同管理料(I)	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・がん治療連携計画策定料	・経皮的冠動脈形成術
・がん治療連携管理料	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・肝炎インターフェロン治療計画料	・経皮的冠動脈ステント留置術
・薬剤管理指導料	・磁気ナビゲーション加算
・医療機器安全管理料1	・経皮的中隔心筋焼灼術
・医療機器安全管理料2	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・医療機器安全管理料(歯科)	・植込型心電図記録計移植術及び植型心電図記録計摘出術
・歯科治療総合医療管理料	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・持続血糖測定器加算	・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術(レーザーシースを用いるもの)
・造血器腫瘍遺伝子検査	・両室ペースング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペースング機能付き植込型除細動器交換術
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
・検体検査管理加算(I)	・補助人工心臓
・検体検査管理加算(IV)	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)

・遺伝カウンセリング加算	・経皮的動脈遮断術
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・ダメージコントロール手術
・植込型心電図検査	・体外衝撃波胆石破砕術
・時間内歩行試験	・腹腔鏡下肝切除術
・胎児心エコー法	・生体部分肝移植術
・ヘッドアップティルト試験	・同種死体肝移植術
・人工膀胱	・体外衝撃波膀胱石破砕術
・皮下連続式グルコース測定	・腹腔鏡下膀胱体尾部腫瘍切除術
・神経学的検査	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・補聴器適合検査	・腹腔鏡下小切開副腎摘出術
・ロービジョン検査判断料	・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
・コンタクトレンズ検査料1	・腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術
・小児食物アレルギー負荷検査	・同種死体腎移植術
・内服・点滴誘発試験	・生体腎移植術
・センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る。)	・膀胱水圧拡張術
・CT透視下気管支鏡検査加算	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・画像診断管理加算1	・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
・画像診断管理加算2	・人工尿道括約筋植込・置換術
・ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影	・腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
・CT撮影及びMRI撮影	・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術
・冠動脈CT撮影加算	・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
・外傷全身CT加算	・輸血管管理料 I
・大腸CT撮影加算	・貯血式自己血輸血管管理体加算
・心臓MRI撮影加算	・自己生体組織接着剤作成術
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・外来化学療法加算1	・内視鏡手術用支援機器加算
・無菌製剤処理料	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・心大血管疾患リハビリテーション料(I)	・歯周組織再生誘導手術
・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・運動器リハビリテーション料(I)	・麻酔管理料(I)
・呼吸器リハビリテーション料(I)	・麻酔管理料(II)

・がん患者リハビリテーション料	・放射線治療専任加算
・歯科口腔リハビリテーション料2	・外来放射線治療加算
・精神科作業療法	・高エネルギー放射線治療
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・1回線量増加加算
・医療保護入院等診療料	・強度変調放射線治療(IMRT)
・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)	・画像誘導放射線治療加算(IGRT)
・エタノールの局所注入(副甲状腺に対するもの)	・定位放射線治療
・磁気による膀胱等刺激法	・保険医療機関間の連携による病理診断
・一酸化窒素吸入療法	・テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製
・CAD/CAM冠	・テレパソロジーによる術中迅速細胞診
・歯科技工加算	・病理診断管理加算
・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。))の手術前後における歯科矯正に係るもの)
・骨移植術(軟膏移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・インプラント義歯(H24.4.1)	・
・CTガイド下気管支鏡検査(H24.4.1)	・
・先天性難聴の遺伝子診断(H24.4.1)	・
・内視鏡的大腸粘膜下層剥離術(H24.4.1)	・
・腹腔鏡補助下腓体尾部切除又は核出術(H24.4.1)	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	週1回の検討会…7件 2ヶ月に1回の検討会…2件
剖 検 の 状 況	剖検症例数 29例 / 剖検率 8.10%

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
GluRδ2-Cbln1-NRXN複合体によるシナプス形成機構の構造基盤の解明	植村 健	医学部 分子細胞生理学	1,800,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
再生医療に多面的治療手段を提供する多能性幹細胞プロファイリングの開発研究	佐々木 克典	医学部 組織発生学	8,700,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
加齢による体温調節能劣化機構の解明とその熱中症予防への応用	能勢 博	バイオメディカル研究所 先端疾患予防学部門	8,400,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
CNTを応用した高機能生体材料創製のためのCNT・生体界面技術の構築と安全性評価	齋藤 直人	バイオメディカル研究所 バイオテクノロジー・生体医工学部門	7,000,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
網膜浮腫をおこすノックアウトマウスを用いた糖尿病黄斑浮腫の新しい治療法の開発	村田 敏規	医学部 眼科学	2,700,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
粘液糖鎖による胃癌発生の制御	中山 淳	大学院医学系研究科 分子病理学教室	3,500,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
白血病性幹細胞に対するキメラ抗原受容体を用いた遺伝子改変T細胞療法の開発	小池 健一	医学部 小児医学	4,300,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
急性痛は慢性痛化するか：遷延性術後痛のメカニズム	川真田 樹人	医学部 麻酔蘇生学	100,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
Neurexinの結合特異性を操作したマウスを用いた自閉症の分子経路の解明	田淵 克彦	医学部 分子細胞生理学	5,100,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
小脳神経回路網形成の分子基盤の解明	植村 健	医学部 分子細胞生理学	4,700,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
子宮内膜癌における新規癌遺伝子lipocalin2を標的とした治療法の開発	宮本 強	医学部附属病院 産科婦人科	3,300,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
サイクリンAを標的とした子宮内膜癌治療薬の開発：新規化合物の機能解析と改良	塩沢 丹里	医学部 産科婦人科学	4,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
伝播現象から見たアミロイドーシスの実験病理学的把握と予防・治療法の開発	樋口 京一	大学院医学系研究科 加齢生物学教室	4,800,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
次世代遺伝子改変技術を応用した炎症性腸疾患におけるR2・R3の機能連関の解明	桜井 敬之	大学院医学系研究科 循環病態学教室	3,900,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
移植免疫寛容霊長類モデルにおけるiPS細胞を用いた心筋再生療法の開発	柴 祐司	医学部附属病院 循環器内科	5,700,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
臓器間連携と恒常性を司る、新しい生体内情報制御システムの解明と応用展開	新藤 隆行	大学院医学系研究科 循環病態学教室	4,600,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
新規ペプチドを用いた胆管癌治療法の開発	宮川 眞一	医学部 外科学第一	6,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
ビスフェノールAの健康影響評価のための疫学調査研究	津田 洋子	医学部 衛生学公衆衛生学	196,607	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
カタトニアを呈する老年期うつ病の臨床・生物学的研究	天野 直二	医学部 精神医学	1,195,041	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
SAM系マウスを用いた潰瘍性大腸炎の原因遺伝子の同定	森 政之	バイオメディカル研究所 先端疾患予防学部門	1,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
青少年の生活習慣病予防医療を目的とした地域連携型研究・教育拠点の構築	本郷 実	医学部保健学科 成人・老年看護学	900,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
脂質異常症の予防と治療のための短期軽度カロリー制限と運動処方分子メカニズム	澤下 仁子	バイオメディカル研究所 神経難病学部門	1,000,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
認知症を合併した脳卒中患者のADLおよびライフスタイルに関する予後調査	務臺 均	医学部保健学科 基礎作業療法学	400,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
形質細胞様キラー樹状細胞の製造技術に関する研究	下平 滋隆	医学部附属病院 輸血部	900,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
L型カルシウムチャネルの結合膜局在化におけるジャンクトフィリンの役割	中田 勉	医学部 分子薬理学	1,200,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
流れ刺激によるヒト肺細動脈内皮細胞からの炭酸ガス排出機構と呼吸生理学的意義の解	河合 佳子	医学部 器官制御生理学	1,000,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
好塩基球のサイトカイン応答における正および負のシグナル伝達調節機構	瀧 伸介	医学部 免疫制御学	1,200,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
微小粒子状物質等大気汚染物質の健康影響(循環器、呼吸器疾患)に関する研究	野見山 哲生	医学部 衛生学公衆衛生学	1,300,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
小児喘息患者におけるゲノムDNAメチル化異常の実態調査	堺 温哉	医学部 衛生学公衆衛生学	700,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
慢性心不全における東洋医学的アプローチの有用性に関する検討	伊澤 淳	医学部附属病院 循環器内科	1,200,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
mTOR関連細胞生存シグナルの制御による慢性閉塞性肺疾患発症およびその機序の解	安尾 将法	医学部附属病院 呼吸器・感染症内科	1,000,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
脊髄小脳失調症31型のRNA病因説に対するプロテオーム解析	吉田 邦広	医学部 神経難病学	800,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
下肢最遠位部および上肢最近位部での末梢神経障害における定量的神経機能評価法の確	森田 洋	医学部附属病院 卒後臨床研究センター	1,200,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
自然免疫系細胞によるプロテアーゼ認識機構の解明	肥田 重明	バイオメディカル研究所 先端疾患予防学部門	800,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
移植後拒絶反応におけるASCの役割	瀬戸 達一郎	医学部附属病院 外科(2)	900,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
疾患モデルマウスを用いた狭窄性腱鞘炎の病態解析	林 正徳	医学部 運動機能学	1,100,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
放射線照射による膀胱の損傷に対する骨髄由来細胞シートを用いた膀胱再生の試み	今村 哲也	医学部 下部尿路医学講座	1,200,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
婦人科悪性腫瘍に対する新規治療法の開発:子宮平滑筋肉腫の生物学的応答性の解析	林 琢磨	医学部 免疫制御学	400,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
唾液腺腫瘍の分子遺伝学的診断に関する研究	海沼 和幸	医学部附属病院 耳鼻いんこう科	1,200,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
生命科学の進展に対応した規範創生のための学際的多分野融合	玉井 真理子	医学部保健学科 小児・母性看護学	1,400,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
運動療法によって変動するエピジェネティック分子の網羅的解析と予防医学の意義	橋本 繁成	医学部 分子細胞生理学	1,600,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
ヒト胎児肝細胞を用いた胎児毒性評価系の構築と分子毒性基盤	山折 大	医学部附属病院 薬剤部	1,200,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
シュワン細胞の膜骨格構造における蛋白複合体の解析	寺田 信生	医学部保健学科 基礎作業療法学	1,300,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
PPARα活性化による腎実質細胞保護を目的とした新たな慢性腎臓病治療法の開発	上條 祐司	医学部附属病院 血液浄化療法部	1,300,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
脂肪細胞におけるAM-RAMP2系の病態生理学的意義の解明と治療標的への展開	神吉 昭子	大学院医学系研究科 循環病態学教室	1,300,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
エーラスタンロス症候群・新規病型の臨床的および分子遺伝学的探索	古庄 知己	医学部附属病院 遺伝子診療部	1,100,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
HS-dPCR法を用いた肺腺癌遺伝子異常の迅速解析	吉澤 明彦	医学部 病態解析診断学	1,300,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
自己免疫性膵炎のDNAメチレーション異常についての検討	上原 剛	医学部 病態解析診断学	1,000,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
共刺激分子による抗腫瘍免疫反応の機能解析とがんワクチンへの応用	辛 太廣	医学部 免疫制御学	1,300,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
血漿および関節液中のシトルリン化フィブリノゲンおよびその抗体定量法の確立	寺澤 文子	医学部保健学科 病因・病態検査学	800,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
続発性不妊、分娩後の月経発来、次子妊娠希望の背景因子に関する研究	金井 誠	医学部保健学科 小児・母性看護学	600,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
HBe抗原陰性慢性肝炎の病態と発症予測	田中 榮司	医学部 内科学第二	1,500,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
タバコ抽出液によるラット肺気腫モデルにおける薬剤の抑制効果の検討	花岡 正幸	医学部 内科学第一	1,100,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
家族内発症頻発地域における筋萎縮性側索硬化症の網羅的遺伝子解析と臨床病理学的検討	日根野 晃代	医学部附属病院 内科(3)	1,400,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
FAPにおける低分子薬剤のアミロイド線維沈着抑制機序の解明と根治治療への応用	矢崎 正英	バイオメディカル研究所 神経難病学部門	1,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
KATP非依存性経路とインクレチン相互作用によるインスリン分泌機構の解明	駒津 光久	医学部 内科学第四	1,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
アレルギー疾患におけるサイトカイン受容体小胞輸送と受容体遺伝子多型	竹下 敏一	医学部 免疫・微生物学	1,000,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
EGFR阻害剤による皮脂腺細胞の変化と治療薬探索モデルの構築に関する研究	宇原 久	医学部 皮膚科学	1,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
環境化学物質レセプターAhRによる皮膚炎誘導のメカニズムの解析	小川 英作	医学部 皮膚科学	700,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
Notchシグナルがメラノーマで果たす役割の解明と治療への応用	木庭 幸子	医学部附属病院 皮膚科	1,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
甲状腺未分化癌の分子標的開発に向けたEpCAMの機能解析	伊藤 研一	医学部 外科学第二	1,400,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
肝幹細胞を用いたインスリン産生細胞分化誘導による膵切除後内分泌機能不全治療戦略	小林 聡	医学部 外科学第一	500,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
くも膜下出血後の脳細胞の機能障害と攣縮に対するマグネシウムの拡張作用の解析	村田 貴弘	医学部 脳神経外科学	1,600,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
次世代脳動脈瘤クリップ開発への基礎研究 -クリップ閉塞された動脈瘤の変化-	堀内 哲吉	医学部 脳神経外科学	1,400,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
カーボンナノチューブによる骨芽細胞の石灰化促進メカニズムの解明	羽二生 久夫	バイオメディカル研究所 バイオテクノロジー・生体医工学部門	1,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
外尿道括約筋筋膜欠損モデルを用いた細胞シート移植による尿失禁治療の検討	加藤 晴朗	医学部附属病院 泌尿器科	1,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
画像解析に基づいたメニエール病患者の新規診断法の確立と遺伝子解析	福岡 久邦	医学部附属病院 耳鼻いんこう科	1,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
KCNQ4遺伝子変異による難聴のデータベース構築と発症機序に関する研究	西尾 信哉	医学部 人工聴覚器学講座	1,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
嗅覚器及び嗅球の神経細胞数のステレオロジーを用いた定量解析	川岸 久太郎	医学部 人体構造学	1,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
がん患者のための受動的筋弛緩法プログラムの作成と評価に関する研究	近藤 由香	医学部 成人・老年看護学	1,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
助産外来における評価指標としてのルーブリックの開発	渡邊 淳子	医学部 小児・母性看護学	1,600,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
伝統食の生理機能を顕在化とヒトにおける長期的な機能評価法確立のための基礎研究	横山 忠幸	医学部 メディカル・ヘルスイノベーション講座	1,100,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
聴覚刺激の弁別選択によるP300型脳波応用支援システムの構築	千島 亮	医学部保健学科 基礎作業療法学	1,800,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
神経・筋接合に必須のレセプター蛋白LRP4の脳中枢神経系における役割	棚橋 浩	大学院医学系研究科 神経可塑性学教室	1,900,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
インフラマソーム構成分子ASCによるがん細胞の転移制御機構の解明	藤井 千文	バイオメディカル研究所 先端疾患予防学部門	1,500,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
ヒト暑熱馴化後における皮膚血管拡張反応亢進のメカニズムの解明	上條 義一郎	バイオメディカル研究所 先端疾患予防学部門	2,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
新しい血管・リンパ管制御システムに基づく、癌の革新的な医薬基盤の構築	新藤 優佳	大学院医学系研究科 循環病態学教室	1,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
前立腺癌の神経周囲浸潤におけるジストログリカン糖鎖の発現意義	下条 久志	医学部 病理組織学	1,100,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
質量分析によるヒト脂質プロファイル検査法の構築と臨床応用	日高 宏哉	医学部保健学科 生体情報検査学	1,900,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
肝硬変を引き起こすフィブリノゲン低下症の鑑別法の開発と分子生物学的発症機序解明	奥村 伸生	医学部保健学科 病因・病態検査学	1,200,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
子宮頸部固有上皮型腺癌、胃腸型腺癌、前癌病変の病理診断基準と検査診断法の開発	太田 浩良	医学部保健学科 生体情報検査学	1,300,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
手術部ビッグデータの解析による合併症予防と医療費削減のレジームの構築	浦田 浩一	医学部附属病院 手術部	1,200,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
全エクソソームシークエンスによる自己免疫性肝疾患の原因となる新規遺伝子の同定	梅村 武司	医学部 内科学第二	1,500,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
新規発症した高度左室駆出率低下患者に対するβ遮断薬治療後の反応の予測	小山 潤	医学部 内科学第五	2,500,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
脂肪組織由来幹細胞を用いた新規血管新生療法の開発	池田 宇一	医学部 内科学第五	1,700,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
左室駆出率が保持された心不全患者の予後予測指標としての左心房機能の役割	元木 博彦	医学部附属病院 循環器内科	2,600,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
マイクロアレイおよび次世代シークエンスを用いた知的障害原因遺伝子の探索	高野 亨子	医学部 遺伝医学・予防医学	1,500,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
難治性急性骨髄性白血病に対するFLT3を標的とした遺伝子改変T細胞療法の開発	中沢 洋三	医学部附属病院 小児科	1,500,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
若年性骨髄単球性白血病の治療層別化を目指した白血病性幹細胞の網羅的遺伝子解析	坂下 一夫	医学部附属病院 小児科	2,300,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
小児期の慢性消化管炎症から消化器癌への進展に関与するDNAメチル化異常の解析	中山 佳子	医学部附属病院 小児科	1,400,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
表皮再生におけるNotchシグナルの変化の解析と治療への応用	奥山 隆平	医学部 皮膚科学	1,500,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
血液循環腫瘍DNAを用いたメラノーマ患者の遺伝子解析	芦田 敦子	医学部 皮膚科学	1,500,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
Nrf2経路を活性化した凍結保存脾島の移植への利用法の確立	増田 雄一	医学部附属病院 卒後臨床研修センター	1,600,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
くも膜下出血後の脳血管攣縮に対する予防薬・治療薬の可能性	諸 真人	医学部 創薬科学講座	1,500,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
思春期特発性側弯症患者に対する後方矯正固定術に必要なスクリーンの数の最適化	高橋 淳	医学部附属病院 整形外科	2,500,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
開腹術後痛が遷延化する機序と鎮痛法に関する研究	田中 聡	医学部 麻酔蘇生学	2,300,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
中腎管コンピテンス維持におけるFgf9/Sox9発現機構と間葉シグナル動態	城倉 浩平	医学部 組織発生学	1,500,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
自家骨髄幹細胞・脂肪組織由来幹細胞を利用した細胞シートを用いた下部尿路再生療法	石塚 修	医学部 泌尿器科学	1,400,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
KCNQ4遺伝子変異による高音障害・血形難聴発症メカニズムに関する研究	内藤 武彦	医学部附属病院 耳鼻いんこう科	1,500,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
上眼瞼ミューラー筋の構造的特徴と刺激伝達機能に関する組織化学的研究	杠 俊介	医学部 形成再建外科学	2,000,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
腱膜性眼瞼下垂の手術で三叉神経固有感覚の誘発の減少による睡眠障害治療効果の研究	松尾 清	医学部 形成再建外科学	2,000,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
口腔扁平上皮癌細胞におけるグリコーゲン代謝の解明	栗田 浩	医学部 歯科口腔外科学	1,500,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
神経難病療養者に対するモバイル電子端末を用いた在宅チームケアに関する研究	高橋 宏子	医学部保健学科 看護学専攻 広域看護学	600,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
微小重力環境が内耳末梢前庭器に及ぼす影響に関する研究	工 穰	医学部 耳鼻咽喉科学	1,800,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
正常と腫瘍性の子宮平滑筋幹細胞の単離と両者の比較解析：新規治療法の開発に向け	佐野 健司	医学部附属病院 臨床検査部	762,048	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
DREADDシステムを用いたシナプス成熟技術の開発	田淵 克彦	医学部 分子細胞生理学	1,552,239	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
こども同士の遊びが筋力、模倣行動に与える影響	西澤 公美	医学部保健学科 基礎理学療法	800,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
骨組織再生のためのナノカーボンファイバーシートを用いた機能性足場材の開発	齋藤 直人	バイオメディカル研究所 バイオテクノロジー・生体医工学部門	1,000,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
神経難病療養者のスピリチュアルケアを行うチームケアシステムに関する研究	柳澤 節子	医学部保健学科 看護学専攻 基礎看護学	100,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
変形性膝関節症に伴う足裏感覚の内外アンバランスが転倒に及ぼす影響の検討	中村 幸男	医学部附属病院 整形外科	500,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
パーキンソン病モデルマウスへのマグネシウム-L-スレオネート投与の予防・治療効果	小柳 清光	医学部 神経難病学	1,300,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
炎症関連遺伝子修飾からみた運動と5-アミノレブリン酸の併用効果	能勢 博	バイオメディカル研究所 先端疾患予防学部門	1,200,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
胃癌発生におけるIL-33の役割-新規モデルマウスを用いた解析-	中山 淳	大学院医学系研究科 分子病理学教室	900,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
加齢による筋Caチャネルの異常が骨格筋力低下を生じる分子メカニズム	加藤 博之	医学部 運動機能学	1,100,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
無痛症患者の遺伝子学的解析による新規痛み関連分子の探索	杉山 由紀	医学部 麻酔蘇生学	1,400,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
胎盤におけるNeuregulin-1発現と胎児肺成熟促進作用に関する研究	菊地 範彦	医学部附属病院 産科婦人科	1,300,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
分葉状子宮頸管腺腫形成(LEGH)の自然史と腫瘍性性質の解析	宮本 強	医学部附属病院 産科婦人科	700,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
蝸牛の回転ごとに発現する遺伝子スプライシングバリエーションの網羅的解析	吉村 豪兼	医学部 耳鼻咽喉科学	700,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
公衆衛生看護教育に有用で実践的な包括的ケースメソッドの開発と効果分析	奥野 ひろみ	医学部保健学科 看護学専攻 広域看護学	800,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
電動アシストエルゴメーターのペダルスピードによる筋電図解析と透析患者の自覚症状	三好 圭	医学部保健学科 応用理学療法	1,800,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
大学生に向けた学部別特性を反映した「包括的性の健康学習プログラム」の構築と評価	山崎 明美	医学部保健学科 看護学専攻 広域看護学	1,200,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
乳児院入所児の運動発達促進に向けた集団遊びプログラムの有効性の検討	赤羽 美和	医学部保健学科 実践作業療法	1,000,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
シナプス形成・成熟過程における分子動態・微細構造の解析技術の開発	植村 健	医学部 分子細胞生理学	1,700,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
改良型レーザーカッターによるアミロイド物質の生体構造と機能解析	樋口 京一	大学院医学系研究科 加齢生物学教室	700,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
体系的・多遺伝子同時改変マウス作製法開発によるアドレノメデュリンRAMP機能解明	桜井 敬之	大学院医学系研究科 循環病態学教室	1,400,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
多層カーボンナノチューブブロックを用いたin vitroでの骨形成再現実験	田中 学	医学部附属病院 整形外科	1,300,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
発現誘導システムで制御するRNA干渉を用いた糖尿病黄斑浮腫の治療	村田 敏規	医学部 眼科学	1,100,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
パソプレッシンV1a受容体遺伝子と運動習慣の定着率：その作用機序と環境因子の影響	増木 静江	バイオメディカル研究所 先端疾患予防学部門	4,000,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
知覚神経系と免疫系のクロストーク-免疫細胞に発現する痛み関連分子の役割	杉山 由紀	医学部 麻酔蘇生学	6,200,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
超広視野ナノレベル構造観測による乳癌幹細胞in situ同定法の開発	山本 陽一郎	医学部 病理組織学	800,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
脳内ステロイドメタボロミクスを用いた新規抗うつ薬の開発	杉山 暢宏	医学部附属病院 精神科	2,059,140	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金
安全で効果的な術中運動誘発電位刺激電極および刺激方法の開発	兒玉 邦彦	医学部附属病院 脳神経外科	700,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
髓細胞培養系の樹立と髓細胞分化における新規マイクロRNAの同定	伊坪 敏郎	医学部附属病院 リハビリテーション部	800,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
難聴原因遺伝子変異が前庭機能に及ぼす影響に関する研究	塚田 景大	医学部附属病院 耳鼻いんこう科	900,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
心臓血管外科領域における術後せん妄発症予測スケールの開発	寺内 英真	医学部保健学科 看護学専攻 成人・老年看護学	900,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
非正規雇用者のメンタルヘルス支援モデルの開発	五十嵐 久人	医学部保健学科 看護学専攻 広域看護学	1,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
小児難病入院患者の病室外との映像コミュニケーションによる精神的支援と家族の支援	吉川 健太郎	医学部附属病院 小児科	700,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
パーキンソン病における発症の切っ掛けと増悪：リンパ組織の役割に関する検証	香山 絵美	医学部 神経難病学	900,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
サイトカイン受容体のユビキチン非依存性小胞輸送	天野 勇治	医学部 免疫・微生物学	1,100,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
若年性骨髄単球性白血病患者のiPS細胞を用いた疾患特異的マーカーと治療薬の同定	松田 和之	医学部附属病院 臨床検査部	1,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
マクロファージコロニー刺激因子受容体遺伝子異常による若年性認知症の病態解明	福島 和広	医学部附属病院 難病診療センター	1,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
Patient-specific iPS cell-derived vessel smooth muscle cells of DD-EDS	岳 鳳鳴	医学部 組織発生学	600,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
メラノーマ患者末梢血中の血中循環腫瘍細胞の定量と遺伝子変異の解析	上條 史尚	医学部附属病院 皮膚科	1,500,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
子どものうつ症状と自閉症スペクトラム特性におけるサイトカインの役割	篠山 大明	医学部 精神医学	900,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
カルボニルストレス関連分子をバイオマーカーとした統合失調症の病態解明	宮下 光弘	医学部附属病院 精神科	1,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
術後痛に対する下行性痛み抑制系の関与	杉山 大介	医学部 麻酔蘇生学	1,600,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
慢性疼痛患者における運動イメージ訓練による治療法の確立	坂本 明之	医学部附属病院 麻酔科蘇生科	1,600,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
ホスホリパーゼに注目した神経障害性疼痛の機序解明と新たな治療法の開発	井出 進	医学部附属病院 麻酔科蘇生科	600,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
絨毛外トロフォブラストにおけるLCN2の発現と意義の検討	小原 久典	医学部 産科婦人科学	1,600,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
子宮内膜症由来の卵巣癌発癌進展過程におけるlipocalin2の発現と機能の解析	山田 靖	医学部附属病院 産科婦人科	900,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
内耳におけるグルタミントランスポートの解明と遺伝性難聴に関する研究	小口 智啓	医学部 耳鼻咽喉科学	1,000,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
突発性難聴と酸化ストレスの関係に関する検討	鬼頭 良輔	医学部附属病院 耳鼻いんこう科	1,100,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
OTOF遺伝子変異による難聴のデータベース構築とOAE消失メカニズムの解析	鈴木 宏明	医学部附属病院 耳鼻いんこう科	900,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
近赤外線を用いた吻合血管の攣縮予防に関する研究	安永 能周	医学部 形成再建外科学	500,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
在宅重症心身障害児と母親および父親の睡眠の実態と育児ストレスに関する研究	芳賀 亜紀子	医学部保健学科 看護学専攻 小児・母性看護学	700,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
閉塞性動脈硬化症に対する運動療法が酸化ストレスに及ぼす影響	山崎 佐枝子	医学部附属病院 リハビリテーション部	1,100,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
うつ病休職者に対するリワークプログラムの開発	福島 佐千恵	医学部保健学科 作業療法学専攻 基礎作業療法学	600,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
カゼインキナーゼ2による心筋L型Caチャネル活性制御の生理・病態生理的意義の解明	柏原 俊英	医学部 分子薬理学	1,500,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
本邦での家族性地中海熱患者の臨床像と原因遺伝子(MEFV)変異の関連	岸田 大	医学部附属病院 内科(3)	1,300,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
血管障害後の新生内膜肥厚形成におけるマクロファージ由来のヒアルロン酸の重要性	嘉嶋 勇一郎	医学部附属病院 循環器内科	1,000,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
小児脳腫瘍に対するGD2特異的キメラ抗原受容体を用いた遺伝子改変T細胞療法の開発	平林 耕一	医学部附属病院 輸血部	1,600,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
難治性小児急性骨髄性白血病に対するメソセリンを用いた新規細胞免疫療法の開発	柳沢 龍	医学部附属病院 小児科	1,600,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
侵襲性接合菌症に対する特異的養子免疫療法の開発	重村 倫成	医学部 小児医学	1,600,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
筋ジストロフィーに対するMMP-9を標的とした新規治療法の開発	柴 直子	医学部附属病院 小児科	2,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
メラノーマにおける転写因子Runx3の働き	内山 龍平	医学部 皮膚科学	1,500,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
乳癌における3β-HSD Type1発現の臨床的意義の解析	花村 徹	医学部附属病院 外科(2)	400,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
多層カーボンナノチューブの関節内滑膜反応とケモカイン分泌量	野村 博紀	医学部附属病院 整形外科	1,500,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
肉腫に対する抗がん剤複合多層カーボンナノチューブの効果	青木 薫	医学部附属病院 リハビリテーション部	1,500,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
骨芽細胞および骨肉腫における、非古典経路のWnt5aの役割の解明	岡本 正則	医学部附属病院 整形外科	1,400,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
ANSDに対する遺伝子解析とその臨床像に関する検討	岩佐 陽一郎	医学部附属病院 耳鼻いんこう科	1,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
人工内耳装用者の遺伝的背景に関する研究	宮川 麻衣子	医学部 人工聴覚器学講座	1,100,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
老人性難聴発症に関与するSNPsの探索に関する研究	鈴木 伸嘉	医学部 耳鼻咽喉科学	1,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
AM-RAMP2系の脈絡膜新生血管における病態生理学的機序の解明	家里 康弘	医学部附属病院 眼科	800,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
NTGマウスを用いた網膜保護、再生に関する生物学的検証	柳平 朋子	医学部 眼科学	1,400,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
羊膜と口腔上皮細胞による培養上皮シート開発に関する研究	鎌田 孝広	医学部附属病院 特殊歯科・口腔外科	1,300,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
口腔癌における光機能性プローブによるin vivo微小がん検出	嶋根 哲	医学部附属病院 特殊歯科・口腔外科	1,300,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
ASCが癌治療を変える～ASCの発現、分化のメカニズム～	伊藤 隆一	医学部附属病院 特殊歯科・口腔外科	1,300,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
正常産新生児に対する呼吸循環機能の無拘束測定方法の信頼性と有用性に関する研究	徳武 千足	医学部保健学科 看護学専攻 小児・母性看護学	2,000,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
ナノマテリアルに対する特異的受容体の同定	薄井 雄企	医学部附属病院 整形外科	1,100,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
先天性トキソプラズマ症に対するex vivoパルス自己樹状細胞ワクチンの導入	青才 文江	医学部 病理学	900,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
医療的ケアを必要とする子どもの療養行動獲得支援の評価と普及に向けた研究	平林 優子	医学部保健学科 看護学専攻 小児・母性看護学	1,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
LOX-1結合分子群による病的血管機能誘導メカニズムの解明	沢村 達也	医学部 器官制御生理学	4,500,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
内因性酸化LDL阻害因子の同定とその動脈硬化性疾患制御機構の解明	垣野 明美	バイオメディカル研究所 バイオテクノロジー・生体医工学部門	1,000,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
NADPH oxidase 1(Nox1)選択的阻害薬NOS31の非臨床研究開発	鎌田 徹	医学部 分子細胞生化学	2,298,000	補委 独立行政法人科学技術振興機構 受託研究費
在宅障がい者(児)宅の安心療養環境を創出する病-宅連携型高度ICT総合ケアシステム	中村 昭則	附属病院 難病診療センター	6,910,000	補委 総務省信越総合通信局 受託研究費
戦略的創造研究推進事業さきがけ(個人研究型)精神発達障害原因解明のためのNeurexin/Neurexinモデルの確立	田渕 克彦	医学部 分子細胞生理学	12,000,000	補委 独立行政法人科学技術振興機構 受託研究費

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
シナプス形成を誘導するタンパク質複合体の機能解析および構造解析に立脚したシナプス組換えピオフィズ菌を用いる疾患部位選択的な新規虚血性疾患治療薬の開発研究	植村 健	医学部 分子細胞生理学	15,300,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構 受託研究費
ナノ材料の安全・安心確保のための国際先導的安全性評価技術の開発	齋藤 直人	バイオメディカル研究所 バイオテクノロジー・生体医工学部門	12,000,000	補 委 経済産業省 受託研究費
麻酔科学分野にかかる学術研究動向に関する調査研究	川真田 樹人	医学部 麻酔蘇生学	1,300,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会 受託研究費
再生医療の産業化に向けた細胞製造・加工システムの開発	柴 祐司	医学部附属病院 循環器内科	17,392,000	補 委 国立大学法人京都大学 受託研究費
嚥下筋活動のセンシングと嚥下補助食品への応用に関する研究	栗田 浩	医学部 歯科口腔外科学	40,000	補 委 総務省信越総合通信局 受託研究費
精神・神経疾患等のバイオリソース・レポジトリの診療及び研究における有効活用の研究	涌井 敬子	医学部 遺伝医学・予防医学	1,000,000	補 委 独立行政法人国立精神・神経医療研究センター 受託研究費
難治性ニューロパチーの診断技術と治療法の開発	関島 良樹	医学部 内科学第三	400,000	補 委 独立行政法人国立精神・神経医療研究センター 受託研究費
生体内恒常性維持機構の解明と応用展開	新藤 隆行	大学院医学系研究科 循環病態学教室	1,500,000	補 委 独立行政法人国立循環器病研究センター 受託研究費
自律神経障害性疼痛の診断基準作成と新規治療法を開発するための研究	池田 修一	医学部 内科学(3)	6,900,000	補 委 厚生労働省 受託研究費
市販後における重篤副作用(間質性肺炎、横紋筋融解症、重症薬疹等)の発症要因解明と安全対策に関する研究	花岡 正幸	医学部 内科学第一	500,000	補 委 国立医薬品食品衛生研究所 受託研究費
遺伝性難治疾患の網羅的遺伝子解析拠点研究	福嶋 義光	医学部 遺伝医学・予防医学	3,000,000	補 委 国立大学法人横浜市立大学 受託研究費
遺伝子変異に基づくFMFインフラソーム病態解明と炎症制御に向けたトランスレーショナル研究	上松 一永	医学系研究科 病理学(感染防御学)	3,000,000	補 委 国立大学法人長崎大学 受託研究費
治療薬が現存しない先天性中枢神経脱髄疾患の独自の病態モデルを作成し、その治療標的分子を探索する研究に向けて	寺田 信生	医学部 基礎作業療法学	3,000,000	補 委 独立行政法人国立成育医療研究センター 受託研究費
メディカル・ゲノムセンター等におけるゲノム医療実施体制の構築と人材育成に関する研究	福嶋 義光	医学部 遺伝医学・予防医学	9,000,000	補 委 独立行政法人国立がんセンター 受託研究費
生理活性因子の情報制御システムに基づく革新的な医薬品の創出 RAMPを標的とした創	新藤 隆行	大学院医学系研究科 循環病態学教室	10,800,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構 受託研究費
家族性アルツハイマー病に関する横断的観察コホート研究	関島 良樹	医学部 内科学第三	1,000,000	補 委 公立大学法人大阪市立大学 受託研究費
平成26年度子ども健康と環境に関する全国調査甲信ユニットセンター委託業務	野見山 哲生	医学部 衛生学公衆衛生学	71,324,000	補 委 国立大学法人山梨大学 受託研究費
箕輪町セーフコミュニティ自殺予防支援業務	塚原 照臣	医学部 衛生学公衆衛生学	216,000	補 委 箕輪町長 受託研究費
箕輪町セーフコミュニティ外傷調査支援業務	塚原 照臣	医学部 衛生学公衆衛生学	253,800	補 委 箕輪町長 受託研究費
B型肝炎の核酸アナログ薬治療におけるdrug freeを目指したインターフェロン治療の有用性に関する研究	田中 榮司	医学部 内科学2	30,000,000	補 委 厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金
新しい難聴遺伝子診断システムの開発および臨床応用に関する研究	宇佐美 真一	医学部 耳鼻咽喉科学	9,069,000	補 委 厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金
難治性聴覚障害に関する調査研究	宇佐美 真一	医学部 耳鼻咽喉科学	20,000,000	補 委 厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金
先天性サイトメガロウイルス感染症による難聴のマス・スクリーニングおよび治療法に関する研究	岩崎 聡	医学部 人工聴覚器学	10,944,000	補 委 厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金
カーボンナノチューブとPEEK材を複合する技術を活用した脊椎手術のための高機能インプラントの開発	齋藤 直人	バイオメディカル研究所 バイオテクノロジー・生体医工学部門	30,000,000	補 委 厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金
新しく開発された超高感度内視鏡(従来の強力光源が不要)の脳神経外科領域への臨床応用とその実用化に向けた医師主導治験の実施	本郷 一博	医学部 脳神経外科学	50,000,000	補 委 厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金
発達障害児とその家族に対する地域特性に応じた継続的な支援の実施と評価	本田 秀夫	附属病院 子どものこころ診療部	9,240,000	補 委 厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Ushiki A	呼吸器・感染症・アレルギー 内科器	Viral infections in patients with an acute exacerbation of idiopathic interstitial pneumonia.	Respiratory Investigation 52:65-70,2014.
2	Ushiki A	呼吸器・感染症・アレルギー 内科器	Pediatric pulmonary tuberculoma with a solid pulmonary nodule detected on chest computed tomography.	Intern Med 53:913-916,2014.
3	Kitaguchi Y.	呼吸器・感染症・アレルギー 内科器	Pulmonary function impairment in patients with combined pulmonary fibrosis and emphysema with and without airflow obstruction.	International Journal of COPD 9 :805?811, 2014.
4	Yamamoto H	内科学第一教室	Late-onset Rejection of a Unilateral Donor Lung with Vascular C4d Deposition in Bilateral Living-donor Lobar Lung Transplantation: An Autopsy Case Report.	Intern Med 53: 1645-1650, 2014.
5	Miyashita Y	内科学第五(循環器内科学)	Results of the retrospective analysis of renal artery stenting for the salvage of renal function study	Angiology 65(7):620-623, 2014
6	Saigusa T	内科学第五(循環器内科学)	Low levels of high-density lipoprotein cholesterol predict the presence of coronary artery disease in patients with aortic aneurysms	Angiology 65(8):710-715, 2014
7	Miura T	内科学第五(循環器内科学)	In-hospital clinical outcomes of elderly patients (\geq 80 Years) undergoing percutaneous coronary intervention	Circ J 78(5):1097-1103,2014
8	Miura T	内科学第五(循環器内科学)	Five-year prognosis after endovascular therapy in claudicant patients with iliofemoral artery disease	J Endovasc Ther 21(3): 381-388, 2014
9	Ueki Y	内科学第五(循環器内科学)	Infective endocarditis associated with mitral valve prolapse in a patient with klinefelter syndrome	Intern Med 53(9):969-972, 2014
10	Motoki H	内科学第五(循環器内科学)	Right ventricular global longitudinal strain provides prognostic value incremental to left ventricular ejection fraction in patients with heart failure	J Am Soc Echocardiogr 27(7):726-732,2014
11	Ebisawa S	内科学第五(循環器内科学)	Impact of endovascular therapy on oxidative stress in patients with peripheral artery disease	Circ J 78(6):1445-1450, 2014
12	Motoki H	内科学第五(循環器内科学)	Impact of azelnidipine and amlodipine on left ventricular mass and longitudinal function in hypertensive patients with left ventricular hypertrophy	Echocardiography 31(10):1230-1238,2014
13	Hioki H	内科学第五(循環器内科学)	Diagnostic value of peripheral fractional flow reserve in isolated iliac artery stenosis : A comparison with the post-exercise ankle-brachial index	J Endovasc Ther 21(5):625-632, 2014

14	Morita T	内科学第五(循環器内科学)	Significant pericardial involvement of immunoglobulin G4-related disease	Ann Thorac Surg. 98(2):e47-e49,2014
15	Gautam M	内科学第五(循環器内科学)	Importance of fatty acid compositions in patients with peripheral arterial disease	PLoS One 9(9):e107003, 2014
16	Yoshie K	内科学第五(循環器内科学)	Renewed impact of lidocaine on refractory ventricular arrhythmias in the amiodarone era	Int J Cardiol 176(3):936-940, 2014
17	Shiba Y	内科学第五(循環器内科学)	Electrical integration of human embryonic stem cell-derived cardiomyocytes in a guinea pig chronic infarct model	J Cardiovasc Pharmacol Ther 19(4):368-381, 2014
18	Motoki H	内科学第五(循環器内科学)	Global left atrial strain in the prediction of sinus rhythm maintenance after catheter ablation for atrial fibrillation	J Am Soc Echocardiogr 27(11):1184-1192, 2014
19	Joshita, Satoru	Department of Medicine, Division of Gastroenterology and Hepatology, Shinshu University School of Medicine	AST/platelet ratio index associates with progression to hepatic failure and correlates with histological fibrosis stage in Japanese patients with primary biliary cirrhosis	J Hepatol 61 (6) 1443-1445 2014
20	Kimura, Takefumi	Department of Medicine, Shinshu University School of Medicine	Primary hepatocellular carcinoma in a patient with neurofibromatosis type I	Liver Int 2015
21	Komatsu, Michiharu	Department of Internal Medicine, Division of Gastroenterology, Shinshu University School of Medicine	Laparoscopic findings of congenital hepatic fibrosis: A case report and review of the published work	Hepatol Res 44 (7) 818-824 2014
22	Maruyama, Masahiro	Center for Health, Safety, and Environmental Management, Shinshu University	Autoimmune pancreatitis can develop into chronic pancreatitis	Orphanet J Rare Dis 9 77 2014
23	Maruyama, Masahiro	Department of Gastroenterology, Shinshu University School of Medicine	Hepatic Infarction Complicated with Acute Pancreatitis Precisely Diagnosed with Gadoxetate Disodium-enhanced Magnetic Resonance Imaging	Intern Med 53 (19) 2215-2221 2014
24	Morita, Susumu	Department of Medicine, Shinshu University School of Medicine	Characteristics and prediction of hepatitis B e-antigen negative hepatitis following seroconversion in patients with chronic hepatitis B	Hepatol Res 44 (10) E45-53 2014
25	Nakamura, Akira	Department of Gastroenterology, Shinshu University School of Medicine	Eosinophilic Gastroenteritis Complicated with Helicobacter pylori Infection Unresponsive to Eradication Therapy	Intern Med 53 (18) 2061-2065 2014
26	Nakazawa, Hideyuki	Department of Internal Medicine, Division of Hematology, Shinshu University School of Medicine	Screening tests using serum tissue transglutaminase IgA may facilitate the identification of undiagnosed celiac disease among Japanese population	Int J Med Sci 11 (8) 819-823 2014
27	Okamura, Takuma	Department of Gastroenterology, Shinshu University School of Medicine	Antimicrobial Resistance and Characteristics of Eradication Therapy of Helicobacter pylori in Japan: A Multi-Generational Comparison	Helicobacter 19 (3) 214-220 2014
28	Okuhara, Sadahisa	Department of Medicine, Division of Hepatology and Gastroenterology	Serum levels of interleukin-22 and hepatitis B core-related antigen are associated with treatment response to entecavir therapy in chronic hepatitis B	Hepatol Res 44 (10) E172-180 2014

29	Umemura, Takeji	Department of Medicine, Division of Hepatology and Gastroenterology, Shinshu University School of Medicine	Human Leukocyte Antigen Class II Haplotypes Affect Clinical Characteristics and Progression of Type 1 Autoimmune Hepatitis in Japan	PLoS One 9 (6) e100565 2014
30	Umemura, Takeji	Department of Medicine, Division of Hepatology and Gastroenterology, Shinshu University School of Medicine	KIR3DL1-HLA-Bw4 combination and IL28B polymorphism predict response to Peg-IFN and ribavirin with and without telaprevir in chronic hepatitis C	Hum Immunol 75 (8) 822-826 2014
31	Nozomi Kamijo	Department of Medicine, Shinshu University School of Medicine	Mutations of pre-core and basal core promoter before and after hepatitis B e antigen seroconversion	World J Gastroenterol 21 (2) 541-548 2015
32	Komatsu, Michiharu	Department of Medicine (Gastroenterology), Shinshu University School of Medicine	Steatogenesis in adult-onset type II citrullinemia is associated with down-regulation of PPARalpha	Biochim Biophys Acta 1852 (3) 473-481 2015
33	Matsumoto, Akihiro	Department of Medicine, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto	Factors associated with the effect of interferon-alpha sequential therapy in order to discontinue nucleoside/nucleotide analog treatment in patients with chronic hepatitis B	Hepatol Res 2015
34	Katoh N, Matsushima A, Kurozumi M, Matsuda M, Ikeda S	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	Marked and rapid regression of hepatic amyloid deposition in a patient with systemic light chain (AL) amyloidosis after high-dose melphalan therapy with stem cell transplantation	Intern Med 53:1991-1995,2014
35	Katoh N, Yoshida T, Uehara T, Ito K, Hongo K, Ikeda S	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	Spinal intradural extramedullary cavernous angioma presenting with superficial siderosis and hydrocephalus : a case report and review of the literature	Intern Med 53: 1863-1867,2014
36	Kinoshita T, Abe RT, Hineno A, Tsunekawa K, Nakane S, Ikeda S	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	Peripheral sympathetic nerve dysfunction in adolescent Japanese girls following immunization with the human papillomavirus vaccine	Intern Med 53:2185-2200,2014
37	Kinoshita T, Fukushima K, Abe RT, Ogawa Y, Nakagawa M, Katoh N, Yoshida T, Kato H, Ikeda S	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	Motor branch biopsy of the pronator teres muscle in a patient with painful forearm neuropathy	Case Rep Neurol 6:202-206,2014
38	Kinoshita M, Kondo Y, Yoshida K, Fukushima K, Hoshi K, Ishizawa K, Araki N, Yazawa I, Washimi Y, Saitoh B, Kira J, Ikeda S	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	Corpus callosum atrophy in patients with hereditary diffuse leukoencephalopathy with neuroaxonal spheroids: an MRI-based study	Intern Med 53:21-27,2014
39	Kishida D, Nakamura A, Yazaki M, Tsuchiya-Suzuki A, Matsuda M, Ikeda S	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	Genotype-phenotype correlation in Japanese patients with familial Mediterranean fever: differences in genotype and clinical features between Japanese and Mediterranean populations	Arthritis Res Ther 16:439,2014
40	Kodaira M, Inui K, Kakigi R	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	Evaluation of nociceptive A δ - and C-fiber dysfunction with lidocaine using intraepidermal electrical stimulation	Clin Neurophysiol 125: 1870-1877,2014
41	Matsushima A, Yoshida T, Yoshida K, Ohara S, Toyoshima Y, Kakita A, Ikeda S	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	Superficial siderosis associated with aceruloplasminemia. Case report	J Neurol Sci 339:231-234,2014
42	Morita H, Kodaira M, Ikeda S	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	Inadequate modulation of excitability with voluntary dorsiflexion in Parkinson's disease	J Clin Neurophysiol 31:175-179,2014
43	Nakamura A, Kuru S, Hineno A, Kobayashi C, Kinoshita T, Miyazaki D, Ikeda S	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	Slowly progressing lower motor neuron disease caused by a novel duplication mutation in exon 1 of the SOD1 gene	Neurobiol Aging 35:2420.e7-2420.e12,2014
44	Nakamura K, Sekijima Y	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	Response to Satomura et al	Eur J Neurol 21:e63,2014

45	Nakamura K, Sekijima Y, Nakamura K, Hattori K, Nagamatsu K, Shimizu Y, Yazaki M, Sakurai A, Endo F, Fukushima Y, Ikeda S	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	p.E66Q mutation in the GLA gene is associated with a high risk of cerebral small-vessel occlusion in elderly Japanese males	Eur J Neurol 21:49–56,2014
46	Sekijima Y	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	Recent progress in the understanding and treatment of transthyretin amyloidosis	J Clin Pharm Ther 39:225–233,2014
47	Ueno K, Matsushima A, Hineno A, Fukushima K, Tazawa K, Matsuda M, Ikeda S	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	Polyarteritis nodosa with central nervous system involvement mimicking relapsing–remitting multiple sclerosis	Mod Rheumatol 24:525–528,2014
48	Yoshida K, Asakawa M, Suzuki–Kouyama E, Tabata K, Shintaku M, Ikeda S, Oyanagi K	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	Distinctive features of degenerating Purkinje cells in spinocerebellar ataxia type 31	Neuropathology 34:261–267,2014
49	Yoshida K, Miyatake S, Kinoshita T, Doi H, Tsurusaki Y, Miyake N, Saitsu H, Matsumoto N	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	‘Cortical cerebellar atrophy’ dwindles away in the era of next–generation sequencing	J Hum Genet 59:589–590,2014
50	Yoshinaga T, Sekijima Y, Koyama S, Maruyama K, Yoshida T, Kato T, Ikeda S	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	Clinical and radiological findings of a cerebrotendinous xanthomatosis patient with a novel p.A335V mutation in the CYP27A1 gene	Intern Med 53:2725–2729,2014
51	Kobayashi Y	Division of Diabetes, Endocrinology and Metabolism, Department of Internal Medicine, Shinsyu University School of	A somatotropin–producing pituitary adenoma in a female patient with acromegaly, subclinical Cushing’s disease and a left adrenal tumor.	Endocr J 2014 Jun 29;61(6):589–95
52	Ohkubo Y	Division of Diabetes, Endocrinology and Metabolism, Department of Internal Medicine, Shinsyu University School of Medicine	Occurrence of IgG4–related hypophysitis lacking IgG4–bearing plasma cell infiltration during steroid therapy.	Internal Med 2014;53(7):753–7
53	Takei M	Division of Diabetes, Endocrinology and Metabolism, Department of Internal Medicine, Shinsyu University School of Medicine	Takei M, Ishii H, Sato Y, Komatsu M. A Case of Marine–Lenhart Syndrome with a Negative TSH Receptor Antibody Titer Successfully Treated with a Fixed, Low Dose of I (131).	Case Rep Endocrinol. 2014;2014:423563. doi: 10.1155/2014/423
54	Yamazaki M	Division of Diabetes, Endocrinology and Metabolism, Department of Internal Medicine, Shinsyu University School of	A newly identified missense mutation in RET codon 666 is associated with the development of medullary thyroid carcinoma [Rapid Communication].	Endocr J. 2014 Nov 28;61(11):1141–4. Epub 2014 Oct 15.
55	Ishii H	Division of Diabetes, Endocrinology and Metabolism, Department of Internal Medicine, Shinsyu University School of	Efficacy of combination therapy with sitagliptin and low–dose glimepiride in Japanese patients with type 2 diabetes.	J Clin Med Res 6(2) : 127–132, 2014 Apr.
56	Sasayama D	Department of Psychiatry, Shinshu University School of Medicine/Department of Mental Disorder Research, National Institute of Neuroscience, National Center of Neurology and Psychiatry	ITIH3 polymorphism may confer susceptibility to psychiatric disorders by altering the expression levels of GLT8D1	J Psychiatr Res. 50: 79–83, 2014
57	Sasayama D	Department of Psychiatry, Shinshu University School of Medicine/Department of Mental Disorder Research, National Institute of	Benzodiazepines, benzodiazepine–like drugs, and typical antipsychotics impair manual dexterity in patients with schizophrenia.	J Psychiatr Res. 49: 37–42, 2014
58	Kito H	Department of Psychiatry, Shinshu University School of Medicine	Comparison of alterations in cerebral hemoglobin oxygenation in late life depression and Alzheimer’s disease as assessed by near–infrared spectroscopy	Behav Brain Funct. 10:8, 2014
59	Miyashita M	Project for Schizophrenia and Affective Disorder Research, Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science/Department of	Clinical features of schizophrenia with enhanced carbonyl stress.	Schizophr Bull. 40(5): 1040–1046, 2014

60	Yoshihiko Hidaka, Yuji Inaba, Kazuyuki Matsuda, Makoto Itoh, Tomoki Kaneyama, Yoza Nakazawa, Chang-Sung Koh, Motoki Ichikawa	小児医学教室	Cytokine production profiles in chronic relapsing-remitting experimental autoimmune encephalomyelitis: IFN- γ and TNF- α are important participants in the first attack but not in the relapse	J Neurol Sci 340, 117-122, 2014
61	Motobayashi M, Inaba Y, et al.	小児医学教室	Analysis of Phosphorylated Neurofilament H Levels in a Low Birth Weight Infant with Posthemorrhagic Hydrocephalus: A Case Report	Pediatrics & Therapeutics 4, 189, 2014
62	Motobayashi M, Inaba Y, Fukuyama T, Kurata T, Niimi T, Saito S, Shiba N, Nishimura T, Shigemura T, Nakazawa Y, Kobayashi N, Sakashita K, Agematsu K, Ichikawa M, Koike K	小児医学教室	Successful treatment for West syndrome with severe combined immunodeficiency	Brain Dev 37, 140-144, 2015
63	Tomiki H, Kaneyama T, Kobayashi K, Inaba Y, Ichikawa M, Yagita H, Kim BS, Koh CS	小児医学教室	Therapeutic effect of anti- α v integrin mAb on Theiler's murine encephalomyelitis virus-induced demyelinating disease	J Neuroimmunol 268, 25-34, 2014
64	Kaneyama T, Tomiki H, Tsugane S, Inaba Y, Ichikawa M, Akiba H, Yagita H, Kim BS, Koh CS	小児医学教室	The TIM-3 pathway ameliorates Theiler's murine encephalomyelitis virus-induced demyelinating disease	Int Immunol 26, 369-381, 2014
65	Motobayashi M, Fukuyama T, Nakayama Y, Sano k, Noda S, Hidaka Y, Amano Y, Ikeda S, Koike K, Inaba Y	小児医学教室	Successful treatment of fulminant Wilson's disease without liver transplantation	Pediatr Int 56, 429-432, 2014
66	Biagini G, D'Antuono M, Inaba Y, Kano T, Ragsdale D, Avoli M	小児医学教室	Activity-dependent changes in excitability of perirhinal cortex networks in vitro	Pflugers Arch
67	Nishimura T, Inaba Y, Nakazawa Y, Omata T, Akasaka M, Shirai I, Ichikawa M	小児医学教室	Reduction in peripheral regulatory T cell population in childhood ocular type myasthenia gravis	Brain Dev 37, 140-144, 2015
68	Motobayashi M, Inaba Y, Nishimura T, Kobayashi N, Nakazawa Y, Koike K	小児医学教室	An increase in circulating B-cell activating factor in childhood-onset ocular myasthenia gravis	Pediatric Neurology
69	Saida K, Inaba Y, Hirano M, Satake W, Toda T, Suzuki Y, Sudo A, Noda S, Hidaka Y, Hirabayashi K, Imai H, Kurokawa T, Koike K	小児医学教室	A case of Bardet-Biedl syndrome complicated with intracranial hypertension in a Japanese child	Brain Dev 36, 721-724, 2014
70	Sawai T, Nangaku M, Ashida A, Fujimaru R, Hataya H, Hidaka Y, Kaname S, Okada H, Sato W, Yasuda T, Yoshida Y, Fujimura Y, Hattori M, Kagami S	小児医学教室	Diagnostic criteria for atypical hemolytic uremic syndrome proposed by the Joint Committee of the Japanese Society of Nephrology and the Japan Pediatric Society	Clin Exp Nephrol 18, 4-9, 2014
71	Horiuchi A, Nakayama Y, Kajiyama M, Tanaka N, Sano K, Graham DY	小児医学教室	Removal of small colorectal polyps in anticoagulated patients: a prospective randomized comparison of cold snare and conventional polypectomy	Gastrointest Endosc 79, 417-423, 2014
72	Okamura T, Suga T, Nagaya T, Arakura N, Matsumoto T, Nakayama Y, Tanaka E	小児医学教室	Antimicrobial resistance and characteristics of eradication therapy of Helicobacter pylori in Japan: a multi-generational comparison	Helicobacter 19, 214-220, 2014
73	Shigemura T, Nakazawa Y, Matsuda K, Motobayashi M, Saito S, Koike K	小児医学教室	Evaluation of Mucorales DNA load in cerebrospinal fluid in a patient with possible cerebral mucormycosis treated with intravenous liposomal amphotericin B	Int J Infect Dis 29, 200-202, 2014
74	Hirabayashi K, Takatsuki M, Motobayashi M, Kurata T, Saito S, Shigemura T, Nakazawa Y, Sakashita K, Ishizone S, Ota H, Koike K	小児医学教室	Mesenteric Ischemia after Chemotherapy in an Adolescent Patient with a History of Three Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantations for Acute Lymphoblastic leukemia	Pediatr Neonatol

75	Hirabayashi K, Nakazawa Y, Sakashita K, Kurata T, Saito S, Yoshikawa K, Tanaka M, Yanagisawa R, Koike K	小児医学教室	Reduced-toxicity myeloablative conditioning consisting of 8-Gy total body irradiation, cyclophosphamide and fludarabine for pediatric hematological malignancies	Sci Rep
76	Shigemura T, Nakazawa Y, Hirabayashi K, Kobayashi N, Sakashita K, Agematsu K, Koike K	小児医学教室	Dramatic Improvement in the Multifocal Positron Emission Tomography Findings of a Young Adult with Chronic Granulomatous Disease Following Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation	J Clin Immunol
77	Kobayashi N, Takezaki S, Kobayashi I, Iwata N, Mori M, Nagai K, Nakano N, Miyoshi M, Kinjo N, Murata T, Masunaga K, Umebayashi H, Imagawa T, Agematsu K, Sato S, Kuwana M, Yamada M, Takei S, Yokota S, Koike K, Ariga T	小児医学教室	Clinical and laboratory features of fatal rapidly progressive interstitial lung disease associated with juvenile dermatomyositis	Rheumatology (Oxford)
78	Saida K, Kawasaki K, Hirabayashi K, Akazawa Y, Kubota S, Kasuga E, Kusakari M, Ishida T, Kitamura M, Baba A, Koike K	小児医学教室	Exfoliative toxin A staphylococcal scalded skin syndrome in preterm infants	Eur J Pediatr
79	Saito S, Nakazawa Y, Sueki A, Matsuda K, Tanaka M, Yanagisawa R, Maeda Y, Sato Y, Okabe S, Inukai T, Sugita K, Wilson MH, Rooney CM, Koike K	小児医学教室	Anti-leukemic potency of piggyBac-mediated CD19-specific T cells against refractory Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia	Cytotherapy 16, 1257-1269, 2014
80	Sakashita K, Kato I, Daifu T, Saida S, Hiramatsu H, Nishinaka Y, Ebihara Y, Ma F, Matsuda K, Saito S, Hirabayashi K, Kurata T, Uyen LT, Nakazawa Y, Tsuji K, Heike T, Nakahata T, Koike K	小児医学教室	In vitro expansion of CD34(+)CD38(-) cells under stimulation with hematopoietic growth factors on AGM-S3 cells in juvenile myelomonocytic leukemia	Leukemia
81	Shigemura T, Yamazaki T, Shiohara M, Kobayashi N, Naganuma K, Koike K, Agematsu K	小児医学教室	Clinical course in a patient with neutrophil-specific granule deficiency and rapid detection of neutrophil granules as a screening test	J Clin Immunol 34, 780-783, 2014
82	Al-Kzayer LF, Sakashita K, Al-Jadiry MF, Al-Hadad SA, Uyen le TN, Liu T, Matsuda K, Abdulkadhim JM, Al-Shujairi TA, Matti ZI, Hasan JG, Al-Abdullah HM, Inoshita T, Kamata M, Sughayer MA, Madanat FF, Koike K	小児医学教室	Frequent coexistence of RAS mutations in RUNX1-mutated acute myeloid leukemia in Arab Asian children	Pediatr Blood Cancer 61, 1980-1985, 2014
83	Shigemura T, Nakazawa Y, Matsuda K, Sano K, Yaguchi T, Motobayashi M, Saito S, Noda S, Kobayashi N, Agematsu K, Honda T, Koike K	小児医学教室	Serial monitoring of Mucorales DNA load in serum samples of a patient with disseminated mucormycosis after allogeneic bone marrow transplantation	Int J Hematol 100, 206-209, 2014
84	Yoshikawa K, Nakazawa Y, Katsuyama Y, Hirabayashi K, Saito S, Shigemura T, Tanaka M, Yanagisawa R, Sakashita K, Koike K	小児医学教室	Safety, tolerability, and feasibility of antifungal prophylaxis with micafungin at 2 mg/kg daily in pediatric patients undergoing allogeneic hematopoietic stem cell transplantation	Infection 42, 639-647, 2014

85	Hirabayashi K, Nakazawa Y, Matsuura H, Hara Y, Kurata T, Hirabayashi K, Saito S, Yoshikawa K, Tanaka M, Yanagisawa R, Sakashita K, Koike K	小児医学教室	Risk factors for diabetes mellitus and impaired glucose tolerance following allogeneic hematopoietic stem cell transplantation in pediatric patients with hematological malignancies	Int J Hematol 99, 477-486, 2014
86	Matsuda K, Nakazawa Y, Iwashita C, Kurata T, Hirabayashi K, Saito S, Tanaka M, Yoshikawa K, Yanagisawa R, Sakashita K, Sasaki S, Honda T, Koike K	小児医学教室	Myeloid progenitors with PTPN11 and nonRAS pathway gene mutations are refractory to treatment with 6-mercaptopurine in juvenile myelomonocytic leukemia	Leukemia 28, 1545-1548, 2014
87	Al-Kzayer LF, Uyen le TN, Al-Jadiry MF, Al-Hadad SA, Al-Badri SA, Ghali HH, Ameen NA, Liu T, Matsuda K, Abdulkadhim JM, Al-Shujairi TA, Matti ZI, Hasan JG, Al-Abdullah HM, Al-Ani MH, Saber PA, Khalil HM, Inoshita T, Kamata M, Koike K, Sakashita K	小児医学教室	Analysis of class I and II aberrations in Iraqi childhood acute myeloid leukemia using filter paper cards	Ann Hematol 93, 949-955, 2014
88	Shigemura T, Nakazawa Y, Amano Y, Sudo A, Watanabe M, Kobayashi M, Kobayashi N, Koike K, Agematsu K, Nishimura K	小児医学教室	Subcutaneous abscess due to the basidiomycete <i>Phellinus mori</i> in a patient with chronic granulomatous disease	Infection
89	Yanagisawa R, Ishii E, Motoki N, Yamazaki S, Morita D, Sakashita K, Shiohara M, Tanaka M, Hidaka Y, Kubota N, Hidaka E, Ogiso Y, Nakamura T, Yasukochi S.	小児医学教室	Pretransplant-corrected QT dispersion as a predictor of pericardial effusion after pediatric hematopoietic stem cell transplantation.	Transpl Int.
90	Yamazaki T, Shigemura T, Kobayashi N, Honda K, Yazaki M, Masumoto J, Migita K, Agematsu K	小児医学教室	IL-18 serum concentration is markedly elevated in typical familial Mediterranean fever with M694I mutation and can distinguish it from atypical type	Mod Rheumatol 22, 1-3, 2014
91	Yamazaki T, Hokibara S, Shigemura T, Kobayashi N, Honda K, Umeda Y, Agematsu K	小児医学教室	Markedly elevated CD64 expressions on neutrophils and monocytes are useful for diagnosis of periodic fever, aphthous stomatitis, pharyngitis, and cervical adenitis (PFAPA) syndrome during flares	Clin Rheumatol 33, 677-683, 2014
92	Shigemura T, Shiohara M, Kato M, Furuta S, Kaneda K, Morishita K, Hasegawa H, Fujii M, Goriach A, Koike K, Kamata T.	小児医学教室	Superoxide-Generating Nox5 α Is Functionally Required for the Human T-Cell Leukemia Virus Type 1-Induced Cell Transformation Phenotype.	J Virol.

93	Al-Kzayer LF, Sakashita K, Al-Jadiry MF, Al-Hadad SA, Ghali HH, Uyen LT, Liu T, Matsuda K, Abdulkadhim JM, Al-Shujairi TA, Matti ZI, Sughayer MA, Rihani R, Madanat FF, Inoshita T, Kamata M, Koike K.	小児医学教室	Analysis of KRAS and NRAS gene mutations in Arab Asian children with acute leukemia: High frequency of RAS mutations in acute lymphoblastic leukemia.	Pediatr Blood Cancer.
94	Shiba N, Miyazaki D, Yoshizawa T, Fukushima K, Shiba Y, Inaba Y, Imamura M, Takeda S, Koike K, Nakamura A.	小児医学教室	Differential roles of MMP-9 in early and late stages of dystrophic muscles in a mouse model of Duchenne muscular dystrophy.	Biochim Biophys Acta.
95	Akazawa Y, Inaba Y, Hachiya A, Motoki N, Matsuzaki S, Minatoya K, Morisaki T, Morisaki H, Kosaki K, Kosho T, Koike K.	小児医学教室	Reversible cerebral vasoconstriction syndrome and posterior reversible encephalopathy syndrome in a boy with Loeys-Dietz syndrome.	Am J Med Genet A.
96	Yanagisawa R, Nakamura T, Ogiso Y, Hachiya A, Fujihara I, Morita D, Sakashita K, Kitamura M, Matsui H, Nishijima F, Hayashi H, Hidaka E, Sano K, Shiohara M, Yasukochi S.	小児医学教室	Interleukin-8-producing primary cardiac undifferentiated sarcoma in a child with sustained fever.	Pediatr Int.
97	Sano T	Department of Dermatology,?Shinshu?University School of Medicine, Matsumoto, Japan.	Melanocytic naevus shows parallel ridge pattern due to the melanin columns under the ridges.	Acta Derm Venereol. 2015 Jan;95(1):95-6
98	Asai Y	Department of Dermatology,?Shinshu?University School of Medicine, Matsumoto, Japan.	Generalized pustulosis associated with disseminated Mycobacterium avium infection in a non-AIDS patient.	Eur J Dermatol.?2014 May-Jun;24(3):402-3
99	Unno T	Department of Dermatology,?Shinshu?University School of Medicine, Matsumoto, Japan.	Alteration of dermoscopic features in a juvenile xanthogranuloma during follow-up of 43 months.	Int J Dermatol.?2014 Dec;53(12):e590-1
100	Miyake T	Department of Dermatology,?Shinshu?University School of Medicine, Matsumoto, Japan.	Histopathological correlation to the dermoscopic feature of "string of pearls" in clear cell acanthoma.	Eur J Dermatol.?2014 Jul-Aug;24(4):498-9
101	Iwade M	Department of Dermatology,?Shinshu?University School of Medicine, Matsumoto, Japan.	Generalised acanthosis nigricans in childhood with short stature associated with poor response to growth hormone provocation.	Acta Derm Venereol.?2014 Jul;94(4):486-7
102	Takazawa Y	Department of Dermatology,?Shinshu?University School of Medicine, Matsumoto, Japan.	Toll-like receptor 4 signaling promotes the migration of human melanoma cells.	Tohoku J Exp Med.?2014;234(1):57-65
103	Minagawa A	Department of Dermatology,?Shinshu?University School of Medicine, Matsumoto, Japan.	Vascular structure absence under dermoscopy in two cases of angiosarcoma on the scalp.	Int J Dermatol.?2014 Jul;53(7):e350-2
104	Uchiyama R	Department of Dermatology,?Shinshu?University School of Medicine, Matsumoto, Japan.	IgA/IgG pemphigus with infiltration of neutrophils and eosinophils in an ulcerative colitis patient.	Acta Derm Venereol.?2014 Nov;94(6):737-8
105	Koga H	Department of Dermatology,?Shinshu?University School of Medicine, Matsumoto, Japan.	Automated evaluation system of dermoscopic images of longitudinal melanonychia: proposition of a discrimination index for detecting early nail apparatus melanoma.	J Dermatol.?2014 Oct;41(10):867-71
106	Hayashi K	Department of Dermatology,?Shinshu?University School of Medicine, Matsumoto, Japan.	Detection of the tumor margin of basal-cell carcinoma using dermoscopy and high-frequency ultrasound with narrow pieces of surgical tape as skin markers.	Dermatol Surg.?2014 Jun;40(6):704-6
107	Uhara H	Department of Dermatology,?Shinshu?University School of Medicine, Matsumoto, Japan.	NRAS mutations in primary and metastatic melanomas of Japanese patients.	Int J Clin Oncol.?2014;19(3):544-8

108	Okuyama R	Department of Dermatology, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Japan.	Hair diameter vs. hair density in male androgenetic alopecia.	Br J Dermatol. 2014 Nov;171(5):931
109	Ueda K, et al	Radiology	Tumor hemodynamics and hepatocarcinogenesis: Radio-pathological correlations and outcomes of carcinogenic hepatocyte nodules.	ISRN Hepatology 2014, Article ID 607628, 11 pages
110	Koiwai K, et al	Radiology	Validity of reduced radiation dose for localized diffuse large B-cell lymphoma showing a good response to chemotherapy.	J Radiat Research 55: 359-363, 2014
111	Fujinaga Y, et al	Radiology	Radial volumetric imaging breath-hold examination (VIBE) with k-space weighted image contrast (KWIC) for dynamic gadoteric acid (Gd-EOB-DTPA)-enhanced MRI of the liver: advantages over Cartesian VIBE in the arterial phase.	Eur Radiol 24: 1290-1299, 2014
112	Tokoro H, Fujinaga Y, et al	Radiology	Usefulness of free-breathing readout-segmented echo-planar imaging (RESOLBE) for detection of malignant liver tumors: Comparison with single-shot echo-planar imaging (SS-EPI).	Eur J Radiol 83: 1728-1733, 2014
113	Atsuyoshi Mita	Division of Transplantation, Department of Surgery, Shinshu University School of Medicine	Optimal Initial Dose of Orally Administered Once-daily Extended-release Tacrolimus Following Intravenous Tacrolimus Therapy After Liver Transplantation.	Transplant Proc. 2014 Apr;46(3):794-6
114	Yasushi Ohno	Division of Transplantation, Department of Surgery, Shinshu University School of Medicine	Successful active immunization using a hepatitis B virus vaccination protocol for a recipient with hepatitis B core antibody-positive liver graft.	Transplant Proc. 2014 Apr;46(3):721-5
115	Norihiko Furusawa	First Department of Surgery, Shinshu University School of Medicine	Surgical Treatment of 144 Cases of Hilar Cholangiocarcinoma Without Liver-Related Mortality.	World J Surg. 2014 May;38(5):1164-76
116	Daisuke Takeuchi	Department of Surgery, Shinshu University School of Medicine	Relationships of obesity and diabetes mellitus to other primary cancers in surgically treated gastric cancer patients.	Int J Surg. 2014;12(6):587-93
117	Akira Suzuki	Department of Surgery, Shinshu University School of Medicine	Prevalence of synchronous colorectal neoplasms in surgically treated gastric cancer patients and significance of screening colonoscopy.	Dig Endosc. 2014 May;26(3):396-402
118	Arai Takuma	Department of Surgery, Okaya Municipal Hospital	Assessment of treatment outcomes based on tumor marker trends in patients with recurrent hepatocellular carcinoma undergoing transcatheter arterial chemo-embolization.	Int J Clin Oncol. 2014 Oct;19(5):871-9
119	Koji Kubota	Department of Surgery, Shinshu University School of Medicine	Laparoscopic splenectomy using a low-pressure pneumoperitoneum for the treatment of immune thrombocytopenic purpura during pregnancy: a case report	Shinshu Medical Journal. 2015 Dec;62(6):441-446
120	Hiroaki Motoyama	First Department of Surgery, Shinshu University School of Medicine	Liver failure after hepatocellular carcinoma surgery.	Langenbecks Arch Surg. 2014 Dec;399(8):1047-55
121	Satoshi Sugiyama	Department of Surgery, Shinshu University School of Medicine	Clinicopathological characteristics and outcomes of esophageal submucosal tumors upon treatment by thoracoscopic enucleation or endoscopic follow up alone.	Esophagus. 2015 Jan;12:31-37
122	Okada K	Division of Cardiovascular Surgery, Department of Surgery, Kobe University Graduate School of Medicine, Kobe, Japan.	Outcome of Elective Total Aortic Arch Replacement in Patients with Non-Dialysis Dependent Renal Insufficiency Stratified by Estimated Glomerular Filtration Rate.	J Thorac Cardiovasc Surg
123	Okada K	Division of Cardiovascular Surgery, Department of Surgery, Kobe University Graduate School of Medicine, Kobe, Japan.	In situ total aortic arch replacement for infected distal aortic arch aneurysms with penetrating atherosclerotic ulcer.	J Thorac Cardiovasc Surg

124	Seto T	Department of Surgery, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Nagano, Japan	Tracheo-Bronchial Obstruction and Esophageal Perforation after TEVAR for Thoracic Aortic Rupture.	Ann Vasc Dis
125	Seto T	Department of Surgery, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Nagano, Japan	Pericoronary pseudotumor caused by helicobacter cinaedi.	Int Heart J
126	Seto T	Department of Surgery, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Nagano, Japan	Delayed esophageal perforation secondary to thoracic aortic aneurysm rupture in a patient with human immunodeficiency virus infection.	Ann Vasc Dis
127	Komatsu K	Department of Surgery, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Nagano, Japan	Surgical outcomes of acute type A aortic dissection in elderly patients	Ann Thorac Surg
128	Gomibuchi T	Pulmonary Artery Reconstruction with a Prothetic Conduit in Lung Cancer.	Hybrid thoracic endovascular aortic repair of ascending aortic pseudoaneurysm	J Vasc Surg
129	Yoshida K	Division of Thoracic Surgery, Department of Surgery, Shinshu University, Matsumoto, Japan.	Pulmonary Artery Reconstruction with a Prothetic Conduit in Lung Cancer.	Ann Thorac Cardiovasc Sug
130	Toishi M	Division of Thoracic Surgery, Department of Surgery, Shinshu University, Matsumoto, Japan.	Usefulness of vessel-sealing devices for ≤ 7 mm diameter vessels: a randomized controlled trial for human thoracoscopic lobectomy in primary lung cancer	Interact Cardiovasc Thorac Surg.
131	Eguchi T	Division of Thoracic Surgery, Department of Surgery, Shinshu University, Matsumoto, Japan.	Tumor Size and Computed Tomography Attenuation of Pulmonary Pure Ground-Glass Nodules Are Useful for Predicting Pathological Invasiveness	PLoS One
132	Eguchi T	Division of Thoracic Surgery, Department of Surgery, Shinshu University, Matsumoto, Japan.	Computed tomography attenuation predicts the growth of pure ground-glass nodules	Lung Cancer.
133	Eguchi T	Department of Surgery, Memorial Sloan Kettering Cancer Center, New York, New York; Department of Surgery, Shinshu University, Matsumoto, Nagano Prefecture, Japan.	The New IASLC-ATS-ERS Lung Adenocarcinoma Classification: What the Surgeon Should Know	Semin Thorac Cardiovasc
134	Miura K	Division of Thoracic Surgery, Shinshu University, Matsumoto, Japan	Hilar lymph node metastasis of amelanotic malignant melanoma of unknown origin	Eur J Cardiothorac Surg
135	Miura K	Department of Thoracic Surgery, National Hospital Organization Matsumoto Medical Center, 811 Kotobukitovooka, Matsumoto.	Recurrence of juxtacortical chondrosarcoma arising on the rib	Gen Thorac Cardiovasc Surg.
136	Okada T	Division of Breast and Endocrine Surgery, Department of Surgery, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto.	Coexpression of EpCAM, CD44 Variant Isoforms and Claudin-7 in Anaplastic Thyroid Carcinoma	PLoS One
137	Iesato A	Division of Breast and Endocrine Surgery, Department of Surgery, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Japan	Breast metastases of gastric signet-ring cell carcinoma: a report of two cases and review of the literature	Onco Targets and Therapy
138	Tominaga Y,	Department of Thoracic Surgery, Shinshu University School of Medicine.	An intrathoracic low-grade fibromyxoid sarcoma arising from the chest wall with massive	Ann Thorac Cardiovasc Surg

139	Eguchi T	Department of Thoracic Surgery, Shinshu University School of Medicine.	Multiple schwannomas: Diagnosis and treatment	Hayat MA, ed. Tumors of the Central Nervous System
140	Eguchi T	Department of Thoracic Surgery, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Nagano, Japan.	Lung re-expansion following one-lung ventilation induces neutrophil cytoskeletal rearrangements in rats.	Ann Thorac Cardiovasc Sug.
141	Yoshida K,	Department of Thoracic Surgery, Shinshu University School of Medicine.	Feasibility of Using a Vessel Sealing System in a Human Pulmonary Lobectomy: A Retrospective Comparison of This Procedure with or without a Vessel Sealing System.	Ann Thorac Cardiovasc Sug
142	Takano T	Department of Cardiovascular Surgery, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Nagano, Japan	Structural Valve Deterioration of Porcine Bioprosthesis Soon after Mitral Valve Repair and Replacement	Ann Thorac Cardiovasc Surg
143	Takano T	Department of Cardiovascular Surgery, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Nagano, Japan	Prosthesis-sparing aortic root replacement following aortic valve replacement.	Asian Cardiovascular and Thoracic Annals.
144	Amano J,	Department of Cardiovascular Surgery, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Nagano, Japan	Paravalvular Abscess of the Mitral Valve with Fistula to the Left Ventricle and Detachment of the Coronary Sinus in a Young Woman	Ann Thorac Cardiovasc Surg
145	Takano T	Department of Cardiovascular Surgery, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Nagano, Japan	Treatment of Prosthetic Graft Infection after Thoracic Aorta Replacement.	Ann Thorac Cardiovasc Surg
146	Seto T	Department of Cardiovascular Surgery, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Nagano, Japan	Cardiac Papillary Fibroelastoma: Report of Three Cases	Ann Thorac Cardiovasc Sur
147	Hanamura T	Department of Molecular and Functional Dynamics Graduate School of Medicine, Tohoku University,	Possible role of the aromatase-independent steroid metabolism pathways in hormone responsive primary breast cancers.	Breast Cancer Res Treat
148	Eguchi T	Department of Thoracic Surgery, Ina Central Hospital, Ina, Japan	Successful lung lobectomy for a lung cancer following thoracic endovascular aortic repair for a thoracic aortic aneurysm: report of a case.	Surg Today
149	Eguchi T	Department of Thoracic Surgery, Shinshu University School of Medicine	Lung Re-Expansion Following One-Lung Ventilation Induces Neutrophil Cytoskeletal Rearrangements in Rats	Ann Thorac Cardiovasc Surg
150	Eguchi T	Department of Surgery, Memorial Sloan Kettering Cancer Center, New York, New York; Department of Surgery, Shinshu University, Matsumoto, Nagano Prefecture, Japan.	The New IASLC-ATS-ERS Lung Adenocarcinoma Classification: What the Surgeon Should Know.	Semin Thorac Cardiovasc Surg
151	Yoshida K	Department of Thoracic Surgery, Shinshu University Hospital, Matsumoto, Nagano, Japan	Pulmonary artery reconstruction with a prosthetic conduit in lung cancer	Ann Thorac Cardiovasc Sug
152	Kito M	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	Locked Metacarpophalangeal Joint of the Middle Finger Caused by a Lipoma in the Flexor Tenosynovium	JBJS, 4, e64, 2014
153	Kito M	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	Intraosseous neurilemmoma of the proximal ulna.	Int J Surg, 5, 914-18, 2014

154	Itsubo T	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	Magnetic Resonance Imaging Staging to Evaluate the Stability of Capitellar Osteochondritis Dissecans Lesions.	Am J Sports Med, 42, 1972-77, 2014
155	Akahane T	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	Giant cell tumor of the tendon sheath extending around the patellar tendon and invading the knee joint and tibia: A case report.	Oncol Lett., 8, 2800-02, 2014
156	Yoshida K	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	Avulsion Fracture of the Calcaneus Treated With a Soft Anchor Bridge and Lag Screw Technique: A Report of Two Cases.	J Foot Ankle Surg., 5, S1067-2516
157	Maruyama M	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	Standing versus supine radiographs to evaluate femoral head penetration in the polyethylene liner after total hip arthroplasty	The Journal of Arthroplasty, 29, 2415-19, 2014
158	Tsutsumimoto T	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	The SK-N-AS Human neuroblastoma cell line develops osteolytic bone metastases with increased angiogenesis and COX-2 expression.	J Bone Oncol, 3, 67-76, 2014
159	Tsutsumimoto T	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	A prospective study of the incidence and outcomes of incidental dural tears in microendoscopic lumbar decompressive surgery.	Bone Joint J, 96, 641-645, 2014
160	Kamimura M	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	Tramadol/acetaminophen causes constipation more frequently in women with degenerative spinal disorders than in those with degenerative joint disorders.	Drugs Ther Perspect, 30, 149-154, 2014
161	Nakamura Y	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	Significant differences of brain blood flow in patients with chronic low back pain and acute low back pain detected by brain SPECT	J Orthop Sci., 19, 284-289, 2014
162	Nakamura Y	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	Changes in Bone Turnover Markers and Fracture in Osteoporosis: A Review of the Literature.	Ann Orthop Rheumatol, 2, 1023, 2014
163	Nakamura Y	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	A Case with Atypical Clinical Course Diagnosed as Osteoarthritis, Osteonecrosis, Subchondral Insufficiency Fracture, or Rapidly Destructive Coxopathy.	Open Rheumatol J, 8, 20-23, 2014
164	Kamimura M	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	The Pathophysiology and Progression of Hip Osteoarthritis Accompanied with Joint Pain are Potentially Due to Bone Alterations - Follow-up Study of Hip OA Patients.	Open Rheumatol J, 8, 46-53, 2014
165	Ito-Amano M	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	Temporal and Spatial Expression Patterns of Bone Morphogenetic Protein 3 in Developing Zebrafish.	Open Rheumatol J, 8, 69-72, 2014
166	Komatsu M	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	Knee Joint Pain Potentially Due to Bone Alterations in a Knee Osteoarthritis Patient.	Am J Case Rep, 15, 534-37, 2014
167	Komatsu M	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	Rapid bone destruction in a patient with knee osteoarthritis -A case report and review of the literature-	Clin Cases Miner Bone Metab, 11, 239-242, 2014
168	Hashidate H	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	Serum pentosidine levels after 3 years of bisphosphonate treatment in postmenopausal osteoporotic women.	Endocrine Research, 40, 172-6, 2014
169	Haniu H	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	Biological responses according to the shape and size of carbon nanotubes in BEAS-2B and MESO-1 cells	Int J Nanomedicine, 9, 1970-90, 2014

170	Tsukahara T	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	Cyclic Phosphatidic Acid Inhibits Alkyl-Glycerophosphate-Induced Downregulation of Histone Deacetylase 2 Expression and Suppresses the Inflammatory Response in Human Coronary Artery Endothelial Cells	Int J Med Sci, 11, 955-61, 2014
171	Tsukahara R	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	Heart-type fatty-acid-binding protein (FABP3) is a lysophosphatidic acid-binding protein in human coronary artery endothelial cells.	FEBS open bio, 4, 957-61, 2014
172	Tsukahara T	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	The Role of Autophagy as a Mechanism of Toxicity Induced by Multi-Walled Carbon Nanotubes in Human Lung Cells.	Int J Mol Sci, 16, 40-48, 2014
173	Tsukahara T	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	Cyclic phosphatidic acid induces G0/G1 arrest, inhibits Akt phosphorylation, and downregulates cyclin D1 expression in colorectal cancer cells.	Cell Mol Biol Lett, 2014, 1-10, 2014
174	Uehara M	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	Screw perforation features in 129 consecutive patients performed computer-guided cervical pedicle screw insertion.	Eur Spine J, 23, 2189-95, 2014
175	Uehara M	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	Mid-term results of computer-assisted cervical pedicle screw fixation.	Asian Spine J, 8, 759-67, 2014
176	Uehara M	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	Comparison of Spinous Process-Splitting Laminectomy versus Conventional Laminectomy for Lumbar Spinal Stenosis.	Asian Spine J, 8, 768-76, 2014
177	Uehara M	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	Myxopapillary ependymoma of the cauda equina in a 5-year-old boy.	Asian Spine J, 8, 846-58, 2014
178	Ikegami S	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	Preoperative spinal cord damage affects the characteristics and prognosis of segmental motor paralysis after cervical decompression surgery.	Spine, 29, 463-48, 2014
179	Ikegami S	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	Unilateral vs bilateral hip bone mineral density measurement for the diagnosis of osteoporosis.	J Clin Densitom, 17, 84-90, 2014
180	Okamoto M	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	Noncanonical Wnt5a enhances Wnt/b-catenin signaling during osteoblastogenesis	Sci Rep, 4, 4493, 2014
181	Tensho?K	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	Bony Landmarks of the Anterior Cruciate Ligament Tibial Footprint: A Detailed Analysis Comparing 3-Dimensional Computed Tomography Images to Visual and Histological Evaluations	Am J Sports Med, 42, 1433-40, 2014
182	Tensho?K	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	Snapping pes syndrome after total knee arthroplasty.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc, 22, 192-94, 2014
183	Akaoka Y	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	Early Postoperative Intratunnel Migration of an EndoButton After Anatomic Double-Bundle Anterior Cruciate Ligament Reconstruction A Case Report	JBJS case connector, 4, 2014
184	Uchiyama S	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	Effect of Synovial Transthyretin Amyloid Deposition on Preoperative Symptoms and Postoperative Recovery of Median Nerve Function in Patients with Idiopathic Carpal Tunnel Syndrome	J Orthop Sci, 19, 913-19, 2014
185	Takahashi J	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	Skip Pedicle Screw Fixation Combined with Ponte Osteotomy for Adolescent Idiopathic Scoliosis.	Eur Spine J, 23, 2689-95, 2014

186	Saito N	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	Safe clinical use of carbon nanotubes as innovative biomaterials	Chem Rev, 114, 6014-6070, 2014
187	Nakamura K	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	The effect of vascular pedicle preservation on blood flow and clinical outcome following ulnar nerve transposition.	Journal of Hand Surgery Am, 39, 291-302,2014
188	Moritomo H	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	Reliability of the Hand20 Questionnaire: comparison with the 36-item short-form healthy survey.	Hand Surgery, 19, 1-6, 2014
189	Momose T	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	Structural changes of the carpal tunnel, median nerve and flexor tendons in MRI before and after endoscopic carpal tunnel release.	Hand Surgery, 19, 193-198, 2014
190	Shimizu M	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	Are pedicle screw perforation rates influenced by registered or unregistered vertebrae in multilevel registration using a CT-based navigation system in the setting of scoliosis?	Eur Spine J, 23, :2211-7, 2014
191	Kamimura M	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	The Pathophysiology and Progression of Hip Osteoarthritis Accompanied with Joint Pain are Potentially Due to Bone Alterations – Follow-up Study of Hip OA Patients.	Open Rheumatol J, 8, 46-53, 2014
192	Nakamura Y	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	A case with atypical clinical course diagnosed as osteoarthritis, osteonecrosis, subchondral insufficiency fracture, or rapidly destructive coxopathy.	Open Rheumatol J, 8, 20-23, 2014
193	Hatakenaka T	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	Septic arthritis of the elbow in a child due to Pseudomonas aeruginosa: a case report.	J Pediatr Orthop B., 23, 285-87, 2014
194	Kinoshita T	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	Motor branch biopsy of the pronator teres muscle in a patient with painful forearm neuropathy.	Case Rep Neurol, 30, 202-206, 2014.
195	Uchiyama S	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	The skeletal muscle cross sectional area in long-term bisphosphonate users is smaller than that of bone mineral density-matched controls with increased serum pentosidine concentrations.	Bone, 75, 84-87, 2015
196	Hayashi M	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	Arthrodesis of the carpometacarpal joint of the thumb with plate fixation and bone grafting: a retrospective review.	J Orthop Sci, 20, 302-6, 2015
197	Kito M	Department of Orthopaedic Surgery, Shinshu University School of Medicine	Clinical outcome of deep-seated atypical lipomatous tumor of the extremities with median-term follow-up study.	Eur J Surg Oncol.;41:400-6, 2015
198	Aoyama T	脳神経外科学	Radiographic measurements of C-2 in patients with atlas assimilation: Clinical article	J Neurosurg Spine vol. 21 NO 5 P 732-735. 2014
199	Horiuchi T	脳神経外科学	Mechanical evaluation of long titanium alloy clip. Comparison of cobalt alloy clip.	Neurol Med Chir (Tokyo) Vol. 54 No. 3 p. 176-179. 2014
200	Horiuchi T	脳神経外科学	Results of clipping surgery for aneurysmal subarachnoid hemorrhage in the ninth and tenth decades.	J Clin Neurosci. Vol 21, Issue 9 P 1567-1569. 2014
201	Horiuchi T	脳神経外科学	Rescue revision techniques for end-to-side anastomosis. Technical note.	Surg Neurol Int vol. 5 P94. 2014

202	Ito K	脳神経外科学	Surgical strategy and results of treatment for dumbbell-shaped spinal neurinoma with a posterior approach.	Br J Neurosurg. Vol 28 , Issue 3 P324-329. 2014
203	Kuroiwa M	脳神経外科学	A Case of Presumably Rathke's Cleft Cyst Associated with Postoperative Cerebrospinal Fluid Leakage through Persisting Embryonal Infundibular Recess.	Neurol Med Chir (Tokyo) Vol. 54 No. 7 p. 578-581. 2014
204	Suzuki H	泌尿器科	Efficacy and safety of advanced renal cell carcinoma patients treated with sorenfenib: roles of cytokine pretreatment.	Int J Clin Oncol Aug;19(4):686-92, 2014
205	Imamura T	下部尿路医学講座	Pathways Involving Beta-3 Adrenergic Receptors Modulate Cold Stress-induced Detrusor Overactivity in Conscious Rats.	LUTS 7, 50-55, 2015
206	Imamura T	下部尿路医学講座	Muscarinic receptors mediate cold stress-induced detrusor overactivity in type 2 diabetes mellitus rats.	Int J Urol Oct;21(10):1051-8, 2014
207	Minagawa T	泌尿器科	Observation of the interureteric ridge and ureteral orifice in a patient with a cystocele using color Doppler ultrasonography via the prolapsed bladder.	J Med Ultrasonics. 41: 533-4, 2014.
208	Minagawa T	泌尿器科	Impact of Dynamic Transrectal Ultrasonography on Pelvic Organ Prolapse.	J Urol 193(2):670-6, 2015
209	Hirano T, Iesato Y, Imai A, Toriyama Y, Kikushima W, Murata T	眼科	Effect of Laser Wavelength on Delivering Appropriate Laser Burns through the Opaque Lens Using a Pattern Scan Laser	Ophthalmic Res
210	Hirano T, Iesato Y, Toriyama Y, Imai A, Murata T	眼科	Detection of Fovea-Threatening Diabetic Macular Edema by Optical Coherence Tomography to Maintain Good Vision by Prophylactic Treatment	Ophthalmic Res
211	Hirano T, Iesato Y, Toriyama Y, Imai A, Chiba D, Murata T	眼科	Correlation between diabetic retinopathy severity and elevated skin autofluorescence as a marker of advanced glycation end-product accumulation in type 2 diabetic patients	J Diabetes Complications
212	Hirano T, Iesato Y, Murata T	眼科	Multicolor pattern scan laser for diabetic retinopathy with cataract	Int J Ophthalmol
213	Kikushima W, Imai A, Miyahara T, Kurokawa T, Murata T	眼科	Urgent Vitrectomy/Phacovitrectomy for Bullous Macula-Off Retinal Detachment: Implications for Optimal Timing of Surgery	Asia Pac J Ophthalmol
214	Kikushima W, Imai A, Hirano T, Iesato Y, Toriyama Y, Murata M, Murata T	眼科	Quick Referral and Urgent Surgery to Preempt Foveal Detachment in Retinal Detachment Repair	Asia Pac J Ophthalmol
215	Yano T	耳鼻咽喉科	Frequency of mitochondrial mutation in non-syndromic hearing loss as well as possibly responsible variants found by whole mitochondrial genome screening.	J Hum Genet 59: 100-106 2014
216	Miyagawa M	耳鼻咽喉科	Mutation spectrum and genotype-phenotype correlation of hearing loss patients caused by SLC26A4 mutations in the Japanese: a large cohort study	J Hum Genet 59: 262-268 2014
217	Yoshimura Y	耳鼻咽喉科	Massively parallel DNA sequencing facilitates diagnosis of patients with Usher syndrome Type 1	PLoS ONE 9 e90688 2014

218	Yoshimura Y	耳鼻咽喉科	Deafness gene expression patterns in the mouse cochlea found by microarray analysis.	PLoS ONE 9 e92547
219	Usami S	耳鼻咽喉科	Hearing preservation and clinical outcome of 32 consecutive electric acoustic stimulation (EAS) surgeries.	Acta Otolaryngol 134: 717-727 2014
220	Moteki H	耳鼻咽喉科	Evaluation of cortical processing of language by use of positron emission tomography in hearing loss children with congenital cytomegalovirus infection.	Int J Pediatr Otorhinolaryngol 78(2): 285-289 2014
221	Takumi Y	耳鼻咽喉科	A clinical experience of 'STAMP' plate-guided Bonebridge implantation	Acta Otolaryngologica 134: 1042-1046 2014
222	Moteki H	耳鼻咽喉科	The advantages of sound localization and speech perception of bilateral electric acoustic stimulation.	Acta Otolaryngol 135(2): 147-153 2015
223	Nishio S	耳鼻咽喉科	Clinical application of a custom AmpliSeq library and ion torrent PGM sequencing to comprehensive mutation screening for deafness genes.	Genet Test Mol Biomarkers 19: 209-217 2015
224	Moteki H	耳鼻咽喉科	USH2 Caused by GPR98 mutation diagnosed by massively parallel sequencing in advance of the occurrence of visual symptoms.	Ann Otol Rhinol Laryngol 124: 123-128 2015
225	Yoshimura H	耳鼻咽喉科	Identification of a novel CLRN1 gene mutation in Usher syndrome Type 3 : two case reports.	Ann Otol Rhinol Laryngol 124: 94-99 2015
226	Yoshimura H	耳鼻咽喉科	Novel ABHD12 Mutations in PHARC Patients: The Differential Diagnosis of Deaf-Blindness.	Ann Otol Rhinol Laryngol 124: 77-83 2015
227	Miyagawa M	耳鼻咽喉科	The Patients Associated with TMPRSS3 Mutations are Good Candidates for Electric Acoustic Stimulation.	Ann Otol Rhinol Laryngol 124: 193-204 2015
228	Iwasa Y	耳鼻咽喉科	Non-ocular Stickler syndrome with a novel mutation in COL11A2 diagnosed by massively parallel sequencing in Japanese hearing loss patients.	Ann Otol Rhinol Laryngol 124: 111-117 2015
229	Tsukada K	耳鼻咽喉科	Detailed Hearing and Vestibular Profiles in the Patients with COCH Mutations.	Ann Otol Rhinol Laryngol 124: 100-110 2015
230	Miyagawa M	耳鼻咽喉科	Germinal mosaicism in a family with BO syndrome.	Ann Otol Rhinol Laryngol 124: 118-122 2015
231	Mori K	耳鼻咽喉科	Mutations in LOXHD1 gene cause various types and severities of hearing loss.	Ann Otol Rhinol Laryngol 124: 135-141 2015
232	Mori K	耳鼻咽喉科	Novel mutations in GRXCR1 at DFNB25 lead to progressive hearing loss and dizziness.	Ann Otol Rhinol Laryngol 124: 129-134 2015
233	Nishio S	耳鼻咽喉科	Gene expression profiles of cochlea and vestibular endorgans: localization and function of genes causing deafness.	Ann Otol Rhinol Laryngol 124: 6-48 2015

234	Moteki H	耳鼻咽喉科	Hearing Loss Caused by a P2RX2 Mutation Identified in a MELAS Family with a Coexisting Mitochondrial 3243AG Mutation.	Ann Otol Rhinol Laryngol 124: 177–183 2015
235	Ichinose A	耳鼻咽喉科	Novel mutation in LRTOMT associated with moderate progressive hearing loss in autosomal recessive inheritance.	Ann Otol Rhinol Laryngol 124: 142–147 2015
236	Nishio S	耳鼻咽喉科	Deafness Gene Variations in a 1120 Nonsyndromic Hearing Loss Cohort: Molecular Epidemiology and Deafness Mutation Spectrum of Patients in Japan.	Ann Otol Rhinol Laryngol 124: 49–60 2015
237	Miyagawa M	耳鼻咽喉科	Mutational spectrum and clinical features of patients with ACTG1 mutations identified by massively parallel DNA sequencing.	Ann Otol Rhinol Laryngol 124: 84–93 2015
238	Tsukada K	耳鼻咽喉科	Ethnic-Specific Spectrum of GJB2 and SLC26A4 Mutations: Their Origin and a Literature Review.	Ann Otol Rhinol Laryngol 124: 61–76 2015
239	Miyagawa M	耳鼻咽喉科	Massively parallel DNA sequencing successfully identified seven families with deafness-associated MYO6 mutations: the mutational spectrum and clinical characteristics.	Ann Otol Rhinol Laryngol 124: 148–157 2015
240	Takumi Y	耳鼻咽喉科	Gene expression pattern after Insertion of Dexamethasone-Eluting electrode into the Guinea Pig Cochlea.	PLoS ONE 9 e110238 2014
241	Utsuno H, Miyamoto T, Oka K, Shiozawa T.	Obstetrics and Gynaecology	Morphological alterations in protamine-deficient spermatozoa.	Hum Reprod 29(11):2374–81, 2014
242	Yamada Y, Miyamoto T, Horiuchi A, Ohya A, Shiozawa T.	Obstetrics and Gynaecology	Polypoid endometriosis of the ovary mimicking ovarian carcinoma dissemination: a case report and literature review.	J Obstet Gynaecol Res. 40(5):1426–30, 2014
243	Miyamoto T, Tachibana R, Kobara H, Takano T, Kato H, Shimizu A, Ohya A, Uehara T, Shiozawa T.	Obstetrics and Gynaecology	Recurrent low-grade endometrial stromal sarcoma with intracaval and intracardiac tumor thrombus: diagnosis, treatment, and surgical management.	International Cancer Conference Journal 3(1)1–7, 2014
244	Kumiko Ishida	Department of Anesthesiology and Resuscitology	Calcitonin Gene-related Peptide Is Involved in Inflammatory Pain but Not in Postoperative Pain.	Anesthesiology 121(5) 1068–1079, 2014
245	Sayako Gotoh	Department of Anesthesiology and Resuscitology	Difficulty with cuff deflation of reinforced tracheal tube caused by inflation line occlusion with silk thread ligation and fixation	BMJ Case Reports
246	Yuki Sugiyama	Department of Anesthesiology and Resuscitology	Severe Re-expansion Pulmonary Edema Induced by One-Lung Ventilation.	Respiratory care doi:10.4187/respcare.03759
247	Takashi Ishida	Department of Anesthesiology and Resuscitology	Transversus abdominis plane block with 0.25% levobupivacaine: a prospective, randomized, double-blinded clinical study	J Anesth
248	Matsuo K	Department of Plastic and Reconstructive Surgery, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Japan	Trigeminal Proprioception Evoked by Strong Stretching of the Mechanoreceptors in Müller's Muscle Induces Reflex Contraction of the Orbital Orbicularis Oculi Slow-Twitch Muscle Fibers.	Eplasty. 2014 Aug 12;14:e30. eCollection 2014.
249	Matsuo K	Department of Plastic and Reconstructive Surgery, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Japan	Desensitization of the Mechanoreceptors in Müller's Muscle Reduces the Increased Reflex Contraction of the Orbicularis Oculi Slow-Twitch Fibers in Blepharospasm.	Eplasty. 2014 Sep 12;14:e33. eCollection 2014.

250	Katsunori Mochizuki, Hiroshi Imamura, Tomomi Iwashita, Kazufumi Okamoto	救急科	Neurological outcomes after extracorporeal cardiopulmonary resuscitation in patients with out-of-hospital cardiac arrest: a retrospective observational study in a rural tertiary care center	Journal of intensive care 2:33,2014
251	Katsunori Mochizuki, Dai Ito, Yoshikazu Kusano, Toshiya Uchiyama, Ryosuke Shintani, Osamu Sakaguchi	救急科	Thyroid storm in a child after severe head injury and neurointensive care	Acute Medicine & Surgery 1:186-187,2014
252	Katsunori Mochizuki, Yukio Sekiguchi, Tomomi Iwashita, Hiroshi Dohgomori, Hiroshi Imamura, Kazufumi Okamoto	救急科	Case Report Favorable neurologic outcome in a patient with accidental hypothermia following cardiopulmonary resuscitation for over 165 minutes and intensive care for post-cardiac arrest syndrome	J Jpn Soc Intensive Care 21:333-336,2014
253	Imamura Hiroshi, Cor triatriatum	救急科	An intraoperative diagnosis	J Cardiol Cases 9:127-128,2014
254	Kosho T, Miyake N, Carey JC.	遺伝子診療部	Coffin-Siris syndrome and related disorders involving components of the BAF (mSWI/SNF) complex: historical review and recent advances using next generation sequencing.	Am J Med Genet C Semin Med Genet. 2014 Sep;166C(3):241-51.
255	Kosho T, Okamoto N; Coffin-Siris Syndrome International Collaborators.	遺伝子診療部	Genotype-phenotype correlation of Coffin-Siris syndrome caused by mutations in SMARCB1, SMARCA4, SMARCE1, and ARID1A.	Am J Med Genet C Semin Med Genet. 2014 Sep;166C(3):262-75.
256	Fukushima Toshiro	信州がんセンター,第一内科、放射線科	Successful Concurrent Chemoradiotherapy with Cisplatin plus Vinorelbine for Locally Advanced Thymic Carcinoma	Case Rep Oncol 7: 65-69, 2014
257	Fukushima Toshiro	信州がんセンター	Successful Salvage Chemotherapy with Amrubicin for Invasive Thymoma Associated with Myasthenia Gravis	Jpn J Clin Oncol 44(11): 1120-1122, 2014
258	Kondo Y, Iwao T, Nakamura K, Sasaki T, Takahashi S, Kamada N, Matsubara T, Gonzalez FJ, Akutsu H, Miyagawa Y, Okita H, Kiyokawa N, Toyoda M, Umezawa A, Nagata K, Matsunaga T, Ohmori S	薬剤部	An efficient method for differentiation of human induced pluripotent stem cells into hepatocyte-like cells retaining drug metabolizing activity.	Drug Metab Pharmacokin
259	Kondo Y, Iwao T, Yoshihashi S, Mimori K, Ogihara R, Nagata K, Kurose K, Saito M, Niwa T, Suzuki T, Miyata N, Ohmori S, Nakamura K, Matsunaga T	薬剤部	Histone deacetylase inhibitor valproic acid promotes the differentiation of human induced pluripotent stem cells into hepatocyte-like cells.	PLoS One
260	Ishida K, Ohmori S, Kawamata M	薬剤部	Alkalinized lidocaine in a tracheal tube with a tapered cuff suppresses hemodynamic changes and tube-induced emergent phenomena during extubation.	Eur J Anaesthesiol
261	Yamaori S, Takami K, Shiozawa A, Sakuyama K, Matsuzawa N, Ohmori S	薬剤部	In vitro inhibition of CYP2C9-mediated warfarin 7-hydroxylation by iguratimod: possible mechanism of iguratimod-warfarin interaction.	Biol Pharm Bull
262	Miura Y, Imamura CK, Fukunaga K, Katsuyama Y, Suyama K, Okaneya T, Mushiroda T, Ando Y, Takano T, Tanigawara Y	薬剤部	Sunitinib-induced severe toxicities in a Japanese patient with the ABCG2 421 AA genotype.	BMC Cancer
263	Umemura T, Katsuyama Y, Yoshizawa K, Kimura T, Joshita S, Komatsu M, Matsumoto A, Tanaka E, Ota M	薬剤部	Human leukocyte antigen class II haplotypes affect clinical characteristics and progression of type 1 autoimmune hepatitis in Japan.	PLoS One

264	Umemura T, Ota M, Katsuyama Y, Wada S, Mori H, Maruyama A, Shibata S, Nozawa Y, Kimura T, Morita S, Joshita S, Komatsu M, Matsumoto A, Kamijo A, Kobayashi M, Takamatsu M, Yoshizawa K, Kiyosawa K, Tanaka E	薬剤部	KIR3DL1-HLA-Bw4 combination and IL28B polymorphism predict response to Peg-IFN and ribavirin with and without telaprevir in chronic hepatitis C.	Hum Immunol
265	Mita A, Ikegami T, Masuda Y, Katsuyama Y, Ohno Y, Urata K, Nakazawa Y, Kobayashi A, Miyagawa S	薬剤部	Optimal initial dose of orally administered once-daily extended-release tacrolimus following intravenous tacrolimus therapy after liver transplantation. Transplant Proc.	Transplant Proc
266	Okuhara S, Umemura T, Joshita S, Shibata S, Kimura T, Morita S, Komatsu M, Matsumoto A, Yoshizawa K, Katsuyama Y, Ota M, Tanaka E	薬剤部	Serum levels of interleukin-22 and hepatitis B core-related antigen are associated with treatment response to entecavir therapy in chronic hepatitis B.	Hepatol Res
267	Mori T, Kanbara T, Harumiya M, Iwase Y, Masumoto A, Komiya S, Nakamura A, Shibasaki M, Kanemasa T, Sakaguchi G, Suzuki T	薬剤部	Establishment of opioid-induced rewarding effects under oxaliplatin- and Paclitaxel-induced neuropathy in rats.	J Pharm Sci

計267

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。

3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	花岡 正幸	内科学第一教室	喫煙と肺循環障害。	呼吸と循環 62 (6):592-596, 2014.
2	花岡 正幸	内科学第一教室	喫煙による気道炎症の修飾。	喘息 27(1):69-73, 2014.
3	花岡正幸	内科学第一教室	高地医学から肺循環へ。	呼吸 33(9):843-844, 2014.
4	花岡正幸	内科学第一教室	特集 肺高血圧症の最適治療を目指して 1.肺高血圧症の病態と早期診断の意義。	Progress in Medicine 24(6):336-343, 2014.
5	久保恵嗣	内科学第一教室	特集 9.すべての臨床医が知っておくべき薬剤性肺障害【現状を見る】また、薬剤性肺障害が重要な病	呼吸と循環 62 (12):1127, 2014.
6	花岡正幸	内科学第一教室	巻頭言 高知医学研究から学んだこと。	呼吸と循環 62 (12):1127, 2014.
7	花岡正幸	内科学第一教室	特集 肺高血圧症の新展開 肺高血圧症の最新分類と今後の課題。	呼吸器内科 26(4):239-244, 2014.
8	山本 洋	内科学第一教室	特集 特発性間質性肺炎の臨床。	臨床化学 44:5-9, 2015.
9	山本 洋	内科学第一教室	IgG4関連呼吸器疾患の診断基準。	日本呼吸器学会雑誌 4(1):129-130, 2014.
10	小松雅宙	呼吸器・感染症・アレルギー内科	気管支結核加療後、長期経過を得て気管支狭窄をきたした1例。	Journal of the Japan Society for Helicobacter Research 18 (3) 2014
11	岡村卓磨	信州大学 医学部消化器内科	Helicobacter pylori感染症時代の除菌診療での課題とは何か(第24回)長野県におけるHelicobacter pylori除菌療法の実際と課題	消化器内科学 20 (7) 1047-1048, 2014.
12	関口智裕	信州大学 医学部第2内科	【これが癌?癌じゃないの?-食道・胃編】辺縁に潰瘍を伴う胃粘膜下隆起性病変	腎と透析 76 (増刊) 418-422 2014
13	橋本幸始	信州大学 医学部腎臓内科	【透析・腎移植のすべて】透析 透析中の合併症 VAトラブル	腎と透析 77 (別冊) アクセス2014) 239-241, 2014.
14	橋本幸始	信州大学医学部附属病院 腎臓内科	頻回のアクセストラブルにより心不全管理が困難であった1例 その原因と対策	移植 49 (1) 147 2014
15	小松通治	信州大学医学部附属病院 消化器内科	アルコール性肝障害を有するドナーからのグラフト肝において肝線維化が改善した1例	

16	松本晶博	信州大学 消化器内科	【ウイルス肝炎診療の最前線と今後の展開】口常臨床のポイントと知っておきたい最新情報】ウイルス肝炎の自然経過と疫学】ウイルス肝炎の経過 C型慢性肝炎の自然経過	内科 113 (4) 625-629 2014
17	城下智	信州大学医学部附属病院 消化器内科	【C型肝炎のすべて】(第III章)変貌したC型慢性肝炎の経過 C型慢性肝炎の自然経過	臨床消化器内科 29 (7) 871-876
18	森田進	信州大学 医学部内科学第二講座	【患者にやさしいERCPの工夫】ERCP中のCO2注入は処置後のみならず処置中も患者ストレスを軽減させる	日本肝臓学雑誌 20 (2) 109-115 2014
19	神應太郎	信州大学医学部附属病院 腎臓内科	【食道病変!これ1冊】隆起を呈する病変 良性食道脂肪腫	臨床透視 30 (10) 1309-1314 2014
20	村木崇	信州大学医学部附属病院 消化器内科	【患者にやさしいERCPの工夫】ERCP中のCO2注入は処置後のみならず処置中も患者ストレスを軽減させる	消化器内科 58 (4) 515-521 2014
21	村木崇	信州大学医学部附属病院 消化器内科	【胃の腺腫-診断と治療方針】胃腺腫に対する治療方針 私はこう思う 積極的に治療する立場から	胃と腸 49 (13) 1850-1857 2014
22	大工原誠一	信州大学 医学部内科学第二教室	【肝臓病診療のアップデート】B型肝炎の再活性化	胃と腸 49 (5) 676-685 2014
23	長屋匡信	信州大学 医学部内科学第二講座	One Point Advice HBs抗原の話	Medical Practice 31 (5) 837 2014
24	田中榮司	信州大学医学部内科学第二講座	【これが癌?癌じゃない?-食道・胃編】頂部に発赤を伴う粘膜下腫瘍様隆起	内科 113 (4) 619-623 2014
25	田中榮司	信州大学 医学部内科学第二講座	【B型肝炎の最新治療】核酸アナログ製剤の継続と中止	日本医事新報 (4695) 19-24 2014
26	田中榮司	信州大学 医学部内科学第二講座	【肝臓病診療のアップデート】B型肝炎の再活性化	医学と薬学 71 (7) 1191-1196 2014
27	田中榮司	信州大学 医学部内科学第二教室	診療最前線Q&A B型肝炎ウイルス・コア関連抗原測定法とその臨床的意義	診断と治療 102 (11) 1633-1638 2014
28	田中榮司	信州大学 医学部内科学第二教室	内視鏡的粘膜剥離術後の出血リスク因子の解析	たんじゅうさん 13 (2) 24 2014
29	田中榮司	信州大学 医学部内科学第二教室	【これが癌?癌じゃない?-食道・胃編】頂部に発赤を伴う粘膜下腫瘍様隆起	Gastroenterological Endoscopy 56 (7) 1053-1054 2014
30	福澤慎哉	信州大学医学部附属病院 消化器内科	膈帯血移植を施行したびまん性大細胞型B細胞リンパ腫とパーキットリンパ腫との中間型の1例	臨床血液 55 (7) 830 2014
31	北島央之	信州大学 医学部内科学第二教室	【C型肝炎治療update】治療 IFNβ+リバビリン併用療法	日本臨床 73 (2) 273-279 2015
32	城下智	信州大学医学部附属病院 消化器内科	国内におけるde novo B型肝炎の実態と肝臓学会によるB型肝炎治療ガイドライン	血液内科 70 (1) 123-127 2015
33	妹尾紀子	信州大学 血液内科	肝臓 B型肝炎治療の現状と今後	Annual Review of Hepatology 2015 57-62
34	梅村武司	信州大学 医学部消化器内科	家族性アミロイドポリニューロパチー	Official Neuroscience 32: 加前日本臨床 新領域別症候群シンポジウム 2014
35	田中榮司	信州大学 医学部内科学第二	肝性ミエロパチー,肝性ニューロパチー	長野医報 621:20-24, 2014年
36	池田修一	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	【舌頸部のアミロイドの副反応について】-最も多くの患者を診察した-臨床医の個人的見解を含めて-	腎と透析 77:139-144, 2014年
37	池田修一	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	全身性アミロイドーシスの分類と診断-尿路系に限局するアミロイドーシスを含めて-	神経内科 80:123-128, 2014年
38	池田修一	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	外傷性dementia	神経内科 81:93-96, 2014年
39	池田修一	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	フィンランド型家族性アミロイドポリニューロパチー-疾患概念の変遷と患者の人種的広がり-	腕神経炎の病態と治療
40	池田修一	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	腕神経炎の病態と治療	難病と在宅ケア 19:13-16, 2014年
41	池田修一	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	各科領域の腰痛症の診療 神経内科、リウマチ・膠原病内科	臨牀と研究 91: 23-26, 2014年
42	池田修一	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	全身性アミロイドーシスの分類・病態と治療	胃と腸 49:278-285, 2014年
43	石井亘、池田修一	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	全身性アミロイドーシスの分類・病態と治療	臨床神経学 54: 124-129, 2014年
44	加藤修明、池田修一	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	遺伝性アミロイドニューロパチーの多様性と診断・治療のポイント	臨床神経学 54: 953-956, 2014年
45	木下朋実、松嶋聡、佐藤俊一、星研一、岸田大、矢彦沢裕之	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	遺伝性神経疾患における発症前診断の現状	医学の未来 250: 359-364, 2014年
46	関島良樹	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	家族性アミロイドポリニューロパチー 新規薬物療法 (ジフルニサルとタファミジス)	Official Neuroscience 32: 加前日本臨床 新領域別症候群シンポジウム 2014
47	関島良樹	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	家族性アミロイドポリニューロパチー 新規薬物療法 (ジフルニサルとタファミジス)	Official Neuroscience 32: 加前日本臨床 新領域別症候群シンポジウム 2014
48	関島良樹	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	家族性アミロイドポリニューロパチーに対する新規治療-神経変性疾患治療の新たな時代の幕開け-	Official Neuroscience 32: 加前日本臨床 新領域別症候群シンポジウム 2014
49	関島良樹	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	家族性アミロイドポリニューロパチーに対する新規治療-神経変性疾患治療の新たな時代の幕開け-	Official Neuroscience 32: 加前日本臨床 新領域別症候群シンポジウム 2014
50	関島良樹	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	金属、薬品・化学物質による中毒性疾患 薬品・化学物質 サリン	Official Neuroscience 32: 加前日本臨床 新領域別症候群シンポジウム 2014
51	関島良樹	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	ついに登場 家族性アミロイドーシスの治療薬	Official Neuroscience 32: 加前日本臨床 新領域別症候群シンポジウム 2014
52	関島良樹	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	ファブリー (Fabry) 病	Official Neuroscience 32: 加前日本臨床 新領域別症候群シンポジウム 2014
53	中村昭則、滝沢正臣、宮崎大吾	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	在宅医療のための人工呼吸器の遠隔監視の試み	日本遠隔医療学会雑誌 10: 163-165 2014年

54	中村昭則、吉田邦広	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	神経難病に対する診断、治療、および在宅療養支援	総リウマチ学 シンポジウム 42:497-506、2014年
55	日根野晃代、小柳清光、池田修一	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	Post-polio症候群	Neuroscience and Biomedicine 2014
56	福島和広	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	神経痛性筋萎縮症 (neuralgic amyotrophy) の臨床像とMRI所見	臨床神経学 2014 54:1053-1055、2014年
57	福島和広、池田修一	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	神経痛性筋萎縮症	Brain and Nerve 66: 1421-1428、2014年
58	福島和広、池田修一	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチー (CIDP) 非典型的CIDP	Neuroscience and Biomedicine 2014
59	森田洋	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	2.筋萎縮性側索硬化症	ENTONI 166:83-87、2014年
60	矢崎正英	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	フィンランド型家族性アミロイドポリニューロパチー-全身臓器病変-	神経内科 81:102-106、2014年
61	矢崎正英	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	Heavy chain アミロイドーシスの診断と治療	腎と透析 77:159-163、2014年
62	矢崎正英、池田修一	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	シトルリン欠損症-成人型シトルリン血症	加齢日本臨床 領域別症候群シ
63	矢崎正英、池田修一	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	アミロイドとは	Brain and Nerve 66: 723-730、2014
64	矢崎正英、池田修一	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	シトルリン血症	加齢日本臨床 領域別症候群シ
65	矢崎正英、樋口京一	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	老人性全身性アミロイドーシス	Brain and Nerve 66:817-826、2014
66	吉田邦広	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	遺伝性白質脳症 (HDLS) と多発性硬化症 (MS) の鑑別	MS FRONTIER 3: 46-49、2014年
67	吉田邦広	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	孤発性皮質性小脳萎縮症	加齢日本臨床 領域別症候群シ
68	吉田邦広	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	Hereditary diffuse leukoencephalopathy with spheroids(HDLS)のMR画像	日本臨床神経学 会雑誌 34:42-
69	吉田邦広、池田修一	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	軸索スフェロイドをもつ遺伝性びまん性白質脳症	加齢日本臨床 領域別症候群シ
70	吉田邦広、池田修一	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	Hereditary diffuse leukoencephalopathy with axonal spheroids(HDLS)	最新医学 69:148-152、2014年
71	関戸貴志	信州大学医学部糖尿病内分泌代謝内科	インスリン自己免疫症候群、インスリン受容体異常症B型を発症した高齢者の1例	日本内分泌学会雑誌 Vol.90: Suppl
72	柴田有亮	信州大学医学部糖尿病内分泌代謝内科	CDC73変異で診断された副甲状腺機能亢進症顎腫瘍症候群の一例	日本内分泌学会雑誌 Vol.90 Suppl: 40-44、2014
73	竹内勇介、稲葉雄二、松浦宏樹、倉田研児、三澤由佳、本林光雄、新美妙美、西村貴文、柴直子、小池健一	小児医学教室	頭蓋骨幹端骨異形成症でのカルシトリオール経口パルス療法中の骨代謝マーカーの推移	日本小児科学会雑誌
74	内海雅史、天野芳郎、諸橋文雄、樋口司、牛久英雄、長沼邦明、野見山哲生、稲葉雄二、小池健一	小児医学教室	ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン普及前の小児細菌性髄膜炎の発生頻度	日本小児科学会雑誌
75	窪田満、牛島高介、八木実、中山佳子、位田忍、岡田和子、羽鳥麗子、松藤凡、友政剛	小児医学教室	小児慢性機能性便秘症診療ガイドラインの作成に向けたアンケート調査	日本小児栄養消化器肝臓学会
76	中山佳子	小児医学教室	小児の除菌について—胃癌撲滅を目指した全国的な中学生におけるピロリ菌検診の取組み	日本ヘリコバクター学会誌
77	福山哲広、稲葉雄二	小児医学教室	てんかん診療の進歩と長野県の課題	信州医誌
78	稲葉雄二	小児医学教室	Guillain-Barré症候群、慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチー	今日の小児治療指針 第16版
79	赤澤陽平	小児医学教室	治療の必要のない不整脈、治療しなければならない不整脈	ネオネイタルケア
80	赤澤陽平	小児医学教室	新生児循環へ切り替わったことで起こる疾患	ネオネイタルケア
81	小林法元、重村倫成、古本雅宏	小児医学教室	免疫、アレルギー、膠原病	小児の疾患と看護 (小児看護学③)
82	中山佳子、日高奈緒、加藤沢子、島庸介、花村真由、倉沢伸吾	小児医学教室	消化器疾患	小児の疾患と看護 (小児看護学③)
83	坂下一夫	小児医学教室	血液・腫瘍疾患	小児の疾患と看護 (小児看護学③)
84	三代澤幸秀	小児医学教室	ラストで学ぶ新生児の病態生理ビジュアルノート	ネオネイタルケア

85	枝光 智大	信州大学皮膚科	白癩性肉芽腫の1例	皮膚科の臨床 30巻 2169-2172, 2014
86	面高 俊和	信州大学皮膚科	広範囲に粘膜病変を認めた抗BP180型粘膜炎天疱瘡の1例	西日本皮膚科 76巻 345-348, 2014
87	代田 志保	信州大学皮膚科	Lipase H(LIPH)遺伝子変異によるautosomal recessive woolly hair/hypotrichosisの2例	日本小児皮膚科学会雑誌 33巻 149-150, 2014
88	小林聡	信州大学 第一外科	【肝切除術-基本手技と工夫-】肝静脈還流領域を考慮した系統的肝切除	外科 76巻11号 Page1265-1268
89	小林聡	信州大学 第一外科	【胆嚢癌手術のすべて-腹腔鏡下から拡大手術まで-】 拡大肝右葉切除	手術 68巻11号 Page1467-1469
90	清水明	信州大学 第一外科	【肝切除術-基本手技と工夫-】 肝静脈還流領域を考慮した系統的肝切除	手術 68巻13号 Page1687-1693
91	酒井宏司	信州大学 医学部第一外科	Dynamic studyにて特徴的な造影所見を呈した出血性肝嚢胞の3例	日本消化器外科学会雑誌 47巻9号 Page499-503
92	福井大祐	信州大学医学部附属病院 心臓血管外科	救急集中治療最新ガイドライン2014-' 15	腹部大動脈瘤破裂の治療指針
93	福井大祐	信州大学医学部附属病院 心臓血管外科	血管外科におけるcontroversy:大動脈瘤 破裂型腹部大動脈瘤に対するEVAR:Pros	第13回日本血管外科学会教育セミナー
94	駒津和宜	信州大学医学部附属病院 心臓血管外科	術前ショックを呈した腹部大動脈瘤下大静脈穿破の1救命例	日本血管外科学会雑誌
95	田中晴城	信州大学医学部附属病院 心臓血管外科	心筋梗塞後の左室自由壁破裂についての検討	日本冠疾患学会雑誌
96	吉田和夫	信州大学医学部附属病院 呼吸器外科	呼吸器外科の低侵襲手術～胸腔鏡からロボット支援手術まで～	信州医誌
97	大場崇旦	信州大学医学部附属病院 乳腺内分泌外科	当科における甲状腺高分化乳頭癌の切除範囲と再発・予後の解析	内分泌甲状腺外科学誌
98	伊藤研一	信州大学医学部附属病院 乳腺内分泌外科	Ⅱ進行再発・転移乳癌の薬物療法 C. 有害事象と乳癌薬物療法	乳腺学 11巻1号 Page1-10
99	伊藤研一	信州大学医学部附属病院 乳腺内分泌外科	放射線治療抵抗性の局所進行性、再発・転移性分化型甲状腺癌に対する分子標的薬治療の適応と選択の検討	内分泌甲状腺外科学誌
100	伊藤研一	信州大学医学部附属病院 乳腺内分泌外科	甲状腺悪性腫瘍による気道狭窄に対し緊急気管切開術を行った症例の検討	癌の臨床
101	和田有子	信州大学医学部附属病院 心臓血管外科	当科における膝窩動脈瘤42肢の治療経験	日本血管外科学会雑誌
102	伊藤研一	信州大学医学部附属病院 乳腺内分泌外科	アンチHER2/neu抗体の最新技術動向「トロンボシス」装置別ケーススタディ SenoClaireの使用経験	月刊インナービジョン
103	毛原 啓	信州大学 心臓血管外科	失神で発症した僧帽弁置換術後左房内球状血栓の1例	胸部外科
104	黒岩 正文	脳神経外科学	椎骨動脈解離性動脈瘤に対して椎骨動脈近位および後下小脳動脈起始部を遮断し、後下小脳動脈を椎骨動脈から分離して良好な経過をみた1例	脳卒中 36(4): 278-282, 2014
105	後藤哲哉	脳神経外科学	最新のトピックス 脳神経外科領域におけるロボット手術の現状	信州医学雑誌 62(1): 67-69, 2014.
106	堀内哲吉	脳神経外科学	脳動脈解離の病態と治療	最新臨床脳卒中(下)最新の診断と治療 221
107	寺本 祐二、栗田 浩、西牧史洋、相澤仁志、嶋根 哲、高見澤一伸	信州大学医学部歯科口腔外科学講座	当院での「先進医療・インプラント義歯」の臨床的検討	日本口腔インプラント学会誌 第27巻第3号
108	鎌田孝広、栗田 浩、上田倫弘、山下徹郎、太田嘉英、桐田忠昭、大倉正也、梅田正博	信州大学医学部歯科口腔外科学講座	切除手術が行われたT4b口腔扁平上皮癌の治療成績に関する多施設共同後ろ向き研究	日本口腔外科学会雑誌 第61巻 第1号
109	横山 仁	泌尿器科	前立腺全摘除術における閉鎖リンパ節転移陽性部位の検討	日本泌尿器科学会雑誌 105:3-9, 2014
110	道面尚久	泌尿器科	定位放射線治療とスニチニブの併用が有効であった腎癌脳転移の1例	放射線治療(1881-6444)8巻 59-60, 2014/2
111	前沢千種、宮原照良、山本裕香、黒川徹、村田敏規	眼科	緑内障における黄斑部ganglion cell complex厚と視力との相関	眼科
112	平林一貴、保谷卓男、赤羽圭太、金児由美、菊島渉、鳥山祐一、京本敏行、村田敏規	眼科	倒乱視白内障に対し過矯正Toric IOLを用いた乱視矯正の検討	臨床眼科

113	山本裕香、宮原照良、増尾史織、村田暢子、村田敏規	眼科	B-mode超音波検査が鑑別に有用であったcapsular block syndromeの1例	臨床眼科
114	平野隆雄、山本裕香、時光元温、千葉大、京本敏行、村田敏規	眼科	パターンスキャンレーザーを用いた光凝固の際の網膜前出血合併について	日本糖尿病眼学会誌
115	牧内玲子、高津亜希子、石川香織、菊地範彦、大平哲史、金井誠、塩沢丹里	産科婦人科学	既往帝王切開後の経膈分娩試行(TOLAC)成功に関する因子の検討	信州医学雑誌 62:239-244, 2014
116	竹内穂高、大平哲史、大岡尚美、石川香織、古川哲平、田中恭子、高津亜希子、菊地範彦、金井誠、塩沢丹里	産科婦人科学	Mycoplasma hominisが原因と推察された帝王切開後子宮感染の2例.	関東連合産科婦人科学会誌51:491-496, 2014
117	大岡尚美、古川哲平、高津亜希子、大平哲史、金井誠、塩沢丹里	産科婦人科学	ヘパリンアレルギーのためフォンダパリヌクスで妊娠管理した静脈血栓症既往妊娠の一例	日本産婦人科・新生児血液学会誌 24:6-7, 2014
118	今西 俊明、宮本 強、古川 哲平、岡 賢二、鹿島 大靖、橘 涼太、小原 久典、芦田 敬、近藤 沙織、塩沢 丹里	産科婦人科学	妊娠初期に診断し保存的に治療し得た腹腔妊娠の1例	関東連合産科婦人科学会誌 51(1) 125-131, 2014
119	宇津野宏樹	産科婦人科学	検定の多重性の問題	日本臨床エコーオロジスト学会雑誌 16(4) 2014
120	安藤 晃	信州大学医学部附属病院麻酔科蘇生科	軟骨無形成症合併妊婦の帝王切開の麻酔経験	麻酔 63(6) 686-688, 2014
121	清水 彩里	信州大学医学部附属病院麻酔科蘇生科	高プロカシトニン血症を呈した小児電撃傷の一例	日本小児科医学会雑誌 21(3) 207-209, 2014
122	田中 聡	信州大学医学部麻酔蘇生学教室	複合性局所疼痛症候群に対するインターベンション治療	Peripheral Nerve 25(1) 33-40, 2014
123	杉山 由紀	信州大学医学部麻酔蘇生学教室	低侵襲化する呼吸器手術とその周術期管理 術後の痛みへの対処	Lisa 21(5) 440-444, 2014
124	清水 彩里	信州大学医学部附属病院集中治療部	迅速気管挿管法	救急医学 38(8) 893-896, 2014
125	田中 聡	信州大学医学部麻酔蘇生学教室	術後遷延痛・総論	Practice of Pain Management 5(2) 16-20, 2014
126	田中 聡	信州大学医学部麻酔蘇生学教室	座っていても下肢から血液が心臓に戻るわけ	Lisa 21(10) 980-981, 2014
127	吉山 勇樹	信州大学医学部附属病院麻酔科蘇生科	上大静脈症候群患者に対する直腸切断術の麻酔経験	麻酔 63(10) 1156-1160, 2014
128	吉山 勇樹	信州大学医学部附属病院麻酔科蘇生科	Upshaw-Schulman症候群に深部静脈血栓症を合併した患者の麻酔経験	臨床麻酔 38(10) 1461-1463, 2014
129	布施谷 仁志	信州大学医学部附属病院麻酔科蘇生科	オピオイド(臨床編:がん性疼痛)	レジデント 7(12) 74-84, 2014
130	山本 克己	信州大学医学部附属病院麻酔科蘇生科	鎮静薬の薬理作用 -ミダゾラム, プロポフォール, デクスメトミジン-	臨床麻酔 38(12) 1664-1668, 2014
131	山田 利恵子	信州大学医学部附属病院麻酔科蘇生科	McGrath®MACを用いて気管挿管した小児喉頭saccular cyst摘出術の1症例	麻酔 64(2) 154-156, 2014
132	佐治 智子	信州大学 医学部形成再建外科学教室	銀含有創傷被覆材により輸血を要する重症貧血をきたした下半身熱傷の1例	日本形成外科学会誌 (0389-4799) 44巻1号 2014
133	柴 将人	信州大学 医学部形成再建外科学講座	幼少時の臀部熱傷瘢痕に生じた栄養障害性皮膚石灰沈着症の1例	113X)40巻1号 2014
134	杠 俊介、西尾明子	形成再建外科	再建部位別にみたティッシュ・エキスパンション法のコツー背部ー	形成外科
135	永井史緒、杠 俊介、山口梨沙、久島英雄	形成再建外科	牽引方向に工夫を加えた側頭筋移行による顔面神経麻痺動的再建術の2例.	形成外科
136	岡元和文、秋田真代、濱野雄二郎、森幸太郎、岩下具美、今村浩	救急科	Invasive care unitからless invasive unitへ	ICUとCCU 38:3-9, 2014

137	岡元和文	救急科	ICU関連合併症を防ぐ	ICUとCCU 38:1,2014
138	岡元和文,八塩章弘,上條泰,江口善友,新田憲市,今村浩	救急科	Post-ICU長期人工呼吸の諸問題	Jpn J Respir care 31:2-5,2014
139	今村浩,小澤正敬,新田憲市,岩下具美,佐藤俊夫,南澤匡俊,岡元和文	救急科	典型的な心原性ショックの症状なく多臓器障害に至った急性心筋梗塞の1例	日本救急医学会誌
140	岩下具美,市川通太郎,徳永健太郎,望月勝徳,今村浩,岡元和文	救急科	救急医不在地域のon-line- medical control	日本臨床救急医学会雑誌
141	関口和	信州がんセンター、第二内科、第三内科	ランダム皮膚生検にて診断し得た血管内大細胞型B細胞リンパ腫の2例	信州医学雑誌 62(5): 295-302,
142	佐々木茂	信州がんセンター	前立腺癌の放射線治療	信州医学雑誌 62(6): 431-439, 2014
143	佐々木崇光, 熊谷 健, 佐々木 瞳, 稲見敬太, 佐藤 裕, 高橋昌悟, 松永民秀, 頭金正博, 細川正清, 大森 栄, 永田 清	薬剤部	調剤薬局来局者を対象とした健康食品の使用実態調査とその情報に基づいたCYP2D6活性阻害評価.	医療薬学

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 倫理審査申請の手引き	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 2 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 国立大学法人信州大学臨床研究に係る利益相反マネジメント規定	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年数回 (適宜)

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年数回
・ 研修の主な内容 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に関する講演会 3/12 CITI JAPAN プログラムの受講 等	

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

内科学（1）（呼吸器・感染症内科）大学院・専門医コース，呼吸器専門医・感染症 専門医コース，消化器（肝・胆膵・消化管）専門医コース，血液内科 専門医コース，腎臓・透析 専門医コース，脳神経内科 専門医コース，リウマチ・膠原病内科 専門医コース，脳神経内科 大学院コース，リウマチ・膠原病内科 大学院コース，大学院・研究コース，臨床コース，一般循環器内科コース，循環器内科サブスペシャリティ 取得コース，大学院・研究コース，一般精神医学コース，大学院・研究コース，精神科サブスペシャリティ取得コース，小児科専門医コース，一般皮膚科コース，大学院・研究コース，皮膚科サブスペシャリティ取得コース，放射線科専門医コース，放射線診断専門医コース，放射線治療専門医コース，外科コース，一般整形外科コース，大学院・研究コース，整形外科サブスペシャリティ取得コース，脳神経外科 専門医コース，泌尿器科コース，眼科 専門医コース，専門医コース，一般産婦人科医学コース，研究コース，産婦人科サブスペシャリティ取得コース，麻酔科専門医コース その1（卒後臨床研修2年終了後、大学院・学位取得），麻酔科専門医コース その2（卒後臨床研修2年終了後、大学院・関連病院間連携），形成外科 専門医コース，一般救急・集中治療医コース，大学院・研究コース，病理、検査 専門医コース，臨床遺伝専門医コース，精神科サブスペシャリティ取得コース，がんプロ養成基盤推進プラン（大学院・専門医コース），腫瘍内科・放射線治療 専門医コース，がん治療短期研修コース

2 研修の実績

研修医の人数	109 人
--------	-------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
花岡 正幸	呼吸器・感染症内科	教授	25 年	
田中 榮司	消化器内科	教授	36 年	
伊藤 俊朗	血液内科	講師	22 年	
上條 祐司	腎臓内科	診療教授	20 年	
池田 修一	脳神経内科	教授	36 年	
駒津 光久	糖尿病・内分泌代謝内科	教授	28 年	
池田 宇一	循環器内科	教授	36 年	
天野 直二	精神科	教授	39 年	
小池 健一	小児科	教授	39 年	
奥山 隆平	皮膚科	教授	25 年	
角谷 眞澄	放射線科	教授	37 年	
宮川 眞一	消化器外科 移植外科 小児外科	教授	32 年	
吉田 和夫	呼吸器外科	診療教授	24 年	
伊藤 研一	乳腺・内分泌外科	診療教授	26 年	
加藤 博之	整形外科	教授	35 年	
本郷 一博	脳神経外科	教授	36 年	

石塚 修	泌尿器科	教授	30年	
村田 敏規	眼科	教授	28年	
宇佐美 真一	耳鼻いんこう科	教授	33年	
塩沢 丹里	産科婦人科	教授	28年	
川眞田 樹人	麻酔科蘇生科	教授	28年	
松尾 清	形成外科	教授	36年	
今村 浩	救急科	教授	27年	
福嶋 義光	遺伝子診療部	教授	37年	
本田 秀夫	子どものこころ 診療部	診療教授	26年	
小泉 智展	信州がんセンタ ー	教授	29年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 本郷 一博	
管理担当者氏名	副病院長（事務担当） 中島 一浩 総務課長 川村 金蔵 経営管理課長 丸田 由男 医事課長 北林 俊和 医療支援課長 花立 久雄	

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		総務課 診療情報管理室	電子化されている諸記録は、電子カルテシステムおよび部門システム内で管理している。 紙媒体の諸記録は、診療情報管理室が管理する記録保管庫で管理している。 また、診療録の本院外への持ち出しについては、「信州大学医学部附属病院診療録管理要項」により禁止している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	経営管理課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
第規一則号第一に掲げる十の十一の第一項保各の号状及び第九の二十第	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医事課	
	当該病院内に患者からの	医療支援課	

	一項	安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		
--	----	-------------------------	--	--

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御室
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御室
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御室
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御室
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	経営管理課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	経営管理課
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	経営管理課		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	経営管理課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 本郷 一博	
閲覧担当者氏名	副病院長（事務担当） 中島 一浩 総務課長 川村 金蔵 経営管理課長 丸田 由男 医事課長 北林 俊和 医療支援課長 花立 久雄	
閲覧の求めに応じる場所	総務課	
閲覧の手続の概要		
閲覧希望者より申請が有った際には、総務課にて記録を閲覧させている。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医 師	延	0 件
	歯 科 医 師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
<ul style="list-style-type: none">指針の主な内容： 医療安全管理に関する基本的な考え方 医療安全管理のため組織に関する基本的事項 医療安全管理のための職員に対する研修に関する基本方針 医療安全管理の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 医療事故発生時の対応に関する基本方針 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針 患者からの相談への対応に関する基本方針 その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none">活動の主な内容： 医療事故の防止対策の検討及び推進 再発防止策の提言 医療事故防止のための教育及び研修に関する事項 医療事故防止マニュアルの改訂 各委員会などへの指導と連携（輸血療法委員会、病院情報システム委員会、医療用電子機器管理センター会議、医薬品情報管理室との連絡会議、など）	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 1 3 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容： 医療安全の基本的考え方と具体的対策 超音波ガイド下中心静脈穿刺の講義と実技 AEDを用いた一次救命処置（BLS）の講義と実技 院内急変時シミュレーション 院内自殺の防止について 薬剤管理 麻薬の取り扱い・抗がん剤について 転倒・転落防止のためにできること 医療現場における苦情の発生と対応について（本院医療メディエーターより） 事例検討会 講演会「医療現場における患者の権利擁護について」	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機関内における事故報告等の整備（有）その他の改善のための方策の主な内容： 医療安全管理室ニュースによる注意喚起と周知徹底及びWEBでの周知 転倒・転落 無断離院のポスターを作成し院内周知。 院内の関連会議での自院及び他病院の事例の紹介（情報共有）による注意喚起 各部署の医療安全に係わる改善・対策プランを部署医療安全管理者会議で周知徹底する 医薬品情報管理室や医療用電子機器管理センターとの連携による安全管理の徹底 インシデント報告の中の重要事例について院内ラウンド・現状を調査し部署を巻き込み、マニュアルやルールを作成する。（静脈ポート穿刺・プロポフォル・ウログラフィン）など 院内ラウンドによる安全管理状況の確認及び指導	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有（ 4 名）

⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（ 2名）
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任（ 4 ）名 兼任（ 7 ）名 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> インシデントレポート及び関係者からの事実確認に基づく医療事故等の判定 医療安全相談室からの医療事故の相談内容に関する事項 医療の安全管理を推進するための啓発活動に関すること 医療安全管理委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び改善策の提案に関すること 	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有

(様式第 6)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有
<ul style="list-style-type: none">指針の主な内容： 医療関連感染対策に関する基本的な考え方 感染制御室運営委員会の設置 医療関連感染対策に関する職員研修 医療関連感染発生時の対応 医療関連感染対策ガイドライン 患者等に対する当該指針の閲覧および情報提供と説明に関する基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none">活動の主な内容： 抗菌薬使用動向 JANIS検査部門還元情報報告 医療関連感染に関する啓発および職員研修の企画 感染制御室内規、医療関連感染ガイドライン等の改訂について アウトブレイク事象についての対応、職員への周知 職業感染対策（血液・体液曝露、結核接触者健診、ワクチン接種プログラム 等）について 医療関連感染サーベイランスについて 院内ラウンド報告、改善活動 その他感染管理に関する事項の検討、決定	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 8 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容： 医療関連感染対策に関するオリエンテーション：新規採用者・中途採用者・復帰者 手指衛生トレーニング：新入職看護師 耐性菌対策、冬期の感染症予防、トピックス情報（新興・再興感染症）：全職員 外部講師を招いた講演会「労働安全衛生から見た職業感染対策」：全職員 感染症ガイドラインの使い方、抗真菌薬の使い方：研修医 その他、リンクスタッフ・外部委託職員対象の研修会	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">病院における発生状況の報告等の整備 （ 有 ）その他の改善のための方策の主な内容： 医療関連感染サーベイランスの実施とフィードバック アウトブレイク対応 ICTラウンドおよび環境ラウンドの実施：コンサルテーション、フィードバック、改善報告の確認 職員の血液・体液曝露サーベイランスの実施、情報提供 患者又は家族へ感染に関わる情報を提供、共有し、理解を得た上で協力を求める	

(様式第 6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容： 医療安全職員研修（薬剤管理）「ハイリスク薬について・麻薬の取り扱い・抗がん剤について」9月2日、9月17日の2回の研修を実施した。（平成26年度） 医療安全職員研修（薬剤管理）「これだけは知っておきたい！医薬品安全管理のための基本事項」9月8日、9月30日（予定）の2回の研修を実施。（平成27年度）	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">手順書の作成 （有）業務の主な内容： 医薬品の採用・購入手順に基づいた薬事委員会の開催および適正購入の実施 医薬品管理手順に基づいた医薬品の購入および麻薬、向精神薬、毒薬、劇薬、特定生物由来製品等の適正管理の実施 患者に対する安全な医薬品供給のための調剤、交付、過誤防止、薬剤管理指導等の実施 医薬品情報の収集および提供の実施 保険調剤薬局との連携 等	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医薬品に係る情報の収集の整備 （有）その他の改善のための方策の主な内容： 医薬品安全管理に係る内容の見直しおよび医薬品安全管理のための業務手順書の改訂と院内への周知徹底 医薬品の安全管理に係る必要研修内容の調査・検討と実施 医薬品の安全使用のための情報提供方法の工夫 （メールによる全職員への配信、電子カルテ初期画面への掲示、院内向け薬剤部ホームページへの掲示、各診療科・病棟への書面により通知している。添付文書内容は、添付文書データベースを月に1回更新し、最新の情報を診療端末にて閲覧可能としている。「医薬品医療機器等安全性情報」については、簡易版を作成し、医療安全管理室ニュースと合わせて配布及び回覧をしている。また、部署医療安全管理者会議にて冊子を案内・配布している。） 医薬品情報管理室担当者と医療安全管理室担当者による、定期的(月1回)な連絡会議開催。 （院内で発生した医薬品に係るインシデントや院内外より入手した医薬品の安全性情報・適正使用情報について情報交換をし、院内での対応策等について協議し適切な措置を講じる） 院内での医薬品副作用報告体制の整備 （電子カルテシステムから副作用報告を可能とし、報告体制の整備、周知をおこなった。）	

(様式第 6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 2 8 回
・ 研修の主な内容： 新規機器の導入時の研修 特定機能病院に係る医療機器（人工呼吸器、人工心肺および補助装置、血液浄化装置、除細動器、閉鎖式保育器、放射線治療装置）の研修 AED等必要な機器の研修	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 (有) ・ 保守点検の主な内容： 年 1 回を基本とした定期点検 消耗品・定期部品交換、動作確認、漏電チェック等	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有) ・ その他の改善のための方策の主な内容： Webサイトへの掲載 部署リスクマネージャー会議での連絡 研修会でのアンケート結果による研修内容の見直し 納入業者へ納入医療機器の情報提供の依頼	

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本医療機能評価機構 平成26年2月審査 平成26年5月評価の認定（更新）	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 病院や各診療部署ごとにホームページを公開し、様々な情報を発信している。 地域住民などを対象とする市民公開講座や研修会を毎年開催している。 大学医学部に設置された地域保健推進センターと連携して、地域住民を対象とした研修や、啓発活動を行っている。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 信州がんセンターは、化学療法、放射線治療および緩和医療の専門医を終結し、集学的かつ臓器横断的ながん診療をおこなっている。また信州がんセンターが中心となって、月に1回がん診療に携わる各診療科医師や医療スタッフが参集しカンサーボードを実施している。 先端心臓血管病センターおよび呼吸器センターは、それぞれ内科、外科が連携して先端医療を提供している。	

胸痛センターは、高度救命救急センターと心臓血管外科が連携して循環器救急医療を提供している。